

教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価報告書

令和 4 年度事業分

令和 5 年 8 月作成

伯耆町教育委員会

## 目次

○はじめに .....	1
○教育委員会の活動状況 .....	2
○主要事業の点検評価 .....	6
○伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート .....	12

## ■はじめに

本報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」により、「教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない」ことが法第26条第1項に規定されており、これに基づき、前年度における伯耆町教育委員会の事務の管理及び執行状況について、点検及び評価し、その結果をとりまとめたものです。

## ○点検及び評価の目的

伯耆町教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価することによって、課題や取り組みの方向性を明らかにし、より効果的な教育行政の推進を図るものです。

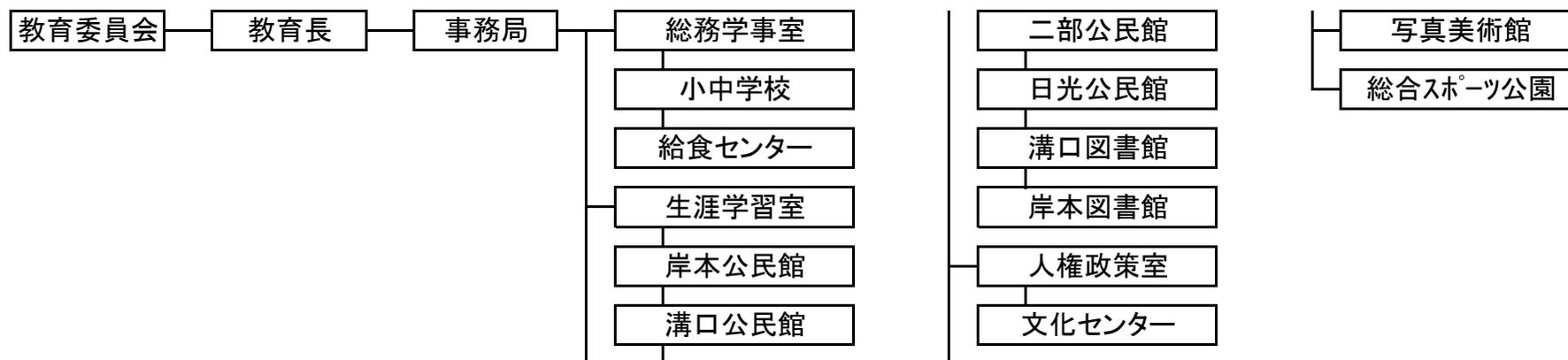
## ○点検及び評価の対象

伯耆町教育委員会が令和 4 年度に取り組んだ主な事務・事業を対象とします。

## ○伯耆町教育委員会委員名簿(令和5年4月1日現在)

教育長	箕 浦 昭 彦
教育長職務代理者	大 木 寿 之
委 員	羽 田 成 夫
委 員	松 岡 和 代
委 員	濱 田 真 代

## ○教育委員会の組織図



## ■教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員会の開催状況

開催日	会議別	案件区分	案件名
4月 26日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	新型コロナウイルス感染症対応状況について
		議事	伯耆町スポーツ推進審議会委員の任命について
		議事	学校運営協議会委員の任命について
		議事	社会教育委員の委嘱について
		議事	公民館運営審議委員の委嘱について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		協議	令和4年度伯耆町社会教育計画について
		協議	令和4年度成人式について
		その他	事務連絡
5月 27日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	学校校務分掌主任等の任命について
		協議	令和4年度教育委員会関係補正予算の原案について
		協議	6月定例町議会提出案件(成人式開催方針)について
		協議	6月定例町議会提出案件(鬼の館駐車場整備計画)について
		協議	令和4年度西部地区町村教育委員会連絡協議会総会の書面決議について
		その他	令和4年度伯耆町教育委員会学校計画訪問実施計画
その他	事務連絡		
7月 6日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	令和4年度西部地区町村教育委員会連絡協議会総会の書面決議報告について
		報告	鳥取県市町村教育委員会研究協議会理事会・定期総会・研究大会について
		報告	6月定例町議会提出案件等の結果について
		議事	学校給食費の額の変更について
		議事	要保護準要保護児童生徒の認定について
		その他	伯耆町新型コロナウイルス感染症対策について
		その他	教育委員会学校計画訪問(2学期)について
		その他	事務連絡

7月28日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	令和4年度前期標準学力調査の結果について
		議事	小中学校ICTに関するアンケートの結果について
		その他	伯耆町町民運動会中止について
		その他	伯耆町「夏休みのお楽しみ」について
		その他	新型コロナウイルス感染症の対応について
		その他	事務連絡
8月29日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		協議	令和4年度教育委員関係補正予算(第2号)の原案について
		協議	令和3年度教育委員会関係予算の決算の原案について
		協議	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価報告書について
		協議	法人の経営状況について
		その他	総合教育会議について
		その他	新型コロナウイルス感染症の対応について
9月30日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	9月定例町議会提出案件等の結果について
		議事	伯耆町立小中学校管理規則の一部改正について
		協議	伯耆町総合教育会議の議題について
		その他	後期学校訪問の日程について
		その他	新型コロナウイルス感染症の対応について
		その他	事務連絡
10月31日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		その他	総合教育会議資料について
		その他	令和5年度新規事業について
		その他	事務連絡
11月25日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		協議	令和4年度教育委員会関係補正予算の原案について

		協議	12月定例町議会提出案件(鬼の館駐車場整備計画の変更)について
		その他	事務連絡
12月22日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	12月定例町議会提出案件等の結果について
		その他	後期学校訪問のまとめについて
		その他	令和5年度当初予算編成に係る要望について(校長会)
		その他	町政に関する要望書について(議会)
		その他	令和4年度教育委員会表彰(1次集約)について
		その他	事務連絡
1月23日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		議事	令和4年度伯耆町教育委員会表彰受賞対象者の決定について
		その他	中学校部活動の地域移行について
		その他	卒業式・入学式出席者確認について
		その他	3月臨時教育委員会の開催について
		その他	事務連絡
2月22日	定例会	報告	教育長報告
		報告	当面の教育委員会関係行事予定
		報告	令和4年度後期標準学力調査の結果について
		報告	令和4年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について
		協議	令和4年度教育委員会関係補正予算(第6号)の原案について
		協議	令和5年度教育委員会関係当初予算の原案について
		協議	人権擁護委員候補者の推薦について
		協議	伯耆町大型作業場条例の廃止に関する議案の原案について
		協議	伯耆町営住宅条例の一部を改正する条例の原案について
		協議	業務委託契約の締結に関する議案の原案について
		協議	第2次伯耆町子ども読書推進計画(案)について
		協議	3月定例町議会提出案件(学校給食会計の公会計化)について
		その他	令和4年度伯耆町教育に関する要望書について(PTA協議会)
		その他	事務連絡
3月9日	臨時会	議事	令和5年度 伯耆町小中学校の教職員の人事異動内申について
3月27日	定例会	報告	教育長報告

	報告	当面の教育委員会関係行事予定
	報告	3月定例議会提出案件等の結果について
	議事	令和5年4月1日付け教育委員会事務局関係職員の人事異動について
	議事	伯耆町スポーツ推進委員の委嘱について
	議事	第2次伯耆町子どもの読書活動推進計画策定について
	協議	令和5年度伯耆町学校教育基本方針について
	協議	社会教育施設等の個別施設計画策定について
	その他	入学式告示案について
	その他	事務連絡

	開催回数	13
案件別 提出 件数	報告件数	34
	議案件数	15
	協議件数	23
	その他件数	33
	合計	105

## 2. 教育委員会関係会議・事業等

### (1) 教育委員研修会・会議

- 鳥取県市町村教育委員会委員研究協議会総会・研修会(倉吉市)
- 西部地区町村教育委員会連絡協議会総会(書面開催)
- 鳥取県市町村教育委員会委員研修会(オンライン開催)

### (2) 学校関係事業・行事

- 学校計画訪問 全小中学校
- 入学式・卒業式 全小中学校
- 運動会・体育祭 全小中学校
- 学習発表会・文化祭 全小中学校
- 教職員離任式

### (3) その他

- 二十歳を祝う会
- 総合教育会議(1回)

## 令和 4 年度 主要事業の点検評価

当該年度に取り組んだ、主要な事業について、事務の執行状況とそれに対する点検・評価の結果を報告する。

### □点検と評価の方法

令和 4 年度の教育委員会所管の業務のうち、次の点検・評価対象事業の成果と課題等について、教育委員会事務局による点検・評価を行い、この結果に対して、社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、小中学校PTA会長、スポーツ推進審議会委員及び教育委員に意見等を求めた。

### □点検・評価対象事業

伯耆町教育振興基本計画の事業展開方針に基づき、取り組んだ事業を対象とする。

#### 基本目標1 「社会の一員として自立して生きていく児童生徒の育成」

##### 施策(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進

###### ①確かな学力と規範意識の向上、豊かな心と健やかな体を育む教育の充実

- ・小中一貫学力・人間力定着事業
- ・中学校各1名、小学校1名のALTの配置
- ・栄養教諭等による食育の充実
- ・運動部活動推進員の配置
- ・人権教育の推進
- ・体験学習の充実など

###### ②教職員の指導力向上のための研修の充実

- ・校内研修への外部指導者招聘
- ・町教委主催各種研修会の実施など
- ・町教振研究大会での悉皆研修

##### 施策(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

###### ①保育所・小学校・中学校一貫教育の推進

- ・保小中一貫カリキュラムの学習指導要領に合わせた改訂（伯耆I学習を含む）
- ・保育所、小学校、中学校の児童・生徒交流活動
- ・小中学校教職員の交流
- ・ふるさとキャリア教育
- ・合同授業研究会など

###### ②保育所・小学校・中学校の滑らかな接続

- ・伯耆町就学支援検討会
- ・早期支援コーディネーター配置
- ・中学校区を単位とする小中学校連携事業の推進
- ・保育所職員、教職員の情報交換会、合同研修など

### 施策(3) 人にやさしい学校教育環境の整備

#### ①人にやさしい学校教育環境の整備

- ・少人数学級の実施
- ・学習支援員と学校司書の配置
- ・スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、早期支援コーディネーターの配置など
- ・部活動指導員等の配置
- ・就学援助

#### ②安全安心で質の高い教育を支える教育環境の整備

- ・学校施設・設備の充実
- ・スクールガードリーダーの配置
- ・ICT環境の整備
- ・ICTに関する教職員の研修や支援の充実
- ・ICT機器の活用促進
- ・体育館照明LED化の検討
- ・給食会計の公会計化検討など

### 基本目標2 まちぐるみで取り組む教育の推進

#### 施策(1) 学校・家庭・地域・行政の連携

##### ①家庭教育の充実

- ・家庭教育ハンドブックの活用促進
- ・放課後子供教室
- ・家庭教育支援チーム
- ・学校や関係課と連携した子育て教室等の開催など

##### ②まち全体で子どもを育む地域と共に創る学校の推進

- ・学校運営協議会・地域学校協働本部と学校との協働
- ・学校支援ボランティア制度の充実など
- ・伯耆町教育ネットワーク会議の取組拡充

#### 施策(2) みんなで取り組む青少年の健全育成

##### ①「共育」「見守り」環境の整備

- ・青少年育成伯耆町民会議等関係団体の活動支援
- ・青少年によるボランティア活動の推進
- ・あいさつ運動の推進など

##### ②ふるさとを支える青少年の育成

- ・ふるさとキャリア教育
- ・伯耆I学習の推進
- ・地域の特性に根差した体験活動の充実
- ・通学合宿
- ・教育交流事業など

### 基本目標3 学び続け輝き続けるための環境づくり

#### 施策(1) 心豊かな生活を創る学びの推進

##### ①生涯学習の推進

- ・ 公民館を核とした住民活動支援と関係課との連携
- ・ 生涯学習情報の積極的な発信
- ・ 住民参画・協働による生涯学習事業の検討
- ・ 溝口公民館改修
- ・ 地域指導者の発掘
- ・ 成人団体の育成など

##### ②読書活動の推進

- ・ 図書館の利用促進と読書活動の推進
- ・ ブックスタート、ブックセカンド、ブックサード事業の実施
- ・ あたまいきいき音読教室の開催、出前図書館など

#### 施策(2) 人権尊重のまちづくりの推進

##### ①人権尊重のまちづくりの推進

- ・ 明るいまちづくり懇談会の充実等教育・啓発活動の推進
- ・ 人権教育・啓発推進協議会の活動支援
- ・ 相談業務の拡充
- ・ 個別計画に基づく事業の推進
- ・ 文化センター活動の充実など

#### 施策(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造

##### ①文化財の保存と活用

- ・ 文化財調査及び文化財保護
- ・ 文化財教室等の開催
- ・ 郷土学習の支援
- ・ 文化財の保存・展示施設の整備など

##### ②地域芸術文化の振興

- ・ 伝統行事や地域文化活動の開催等支援
- ・ 文化施設の適正管理及び利用促進
- ・ 芸術文化活動の発表の場づくり
- ・ 文化芸術団体等の活動支援と活動の周知
- ・ 鬼の館長寿命化など

### 基本目標4 スポーツや運動を通じての心と体の健康づくり

#### 施策(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援

##### ①幼児・小中学生のスポーツ活動の推進

- ・ ジュニアクラブの活動支援
- ・ スポーツクラブとの連携による健康づくり
- ・ 保育園児への運動指導など

②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- ・ニーズに沿ったスポーツ教室等の開催

- ・運動、スポーツに関する啓発・情報提供など

施策(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

①いつでも気軽にスポーツができる環境の整備

- ・スポーツ関係団体と連携した事業の推進
- ・スポーツ団体の活動支援
- ・体育施設の適正管理

- ・海洋センター（体育館・プール）、武道館の照明LED化検討
- ・グラウンド等夜間照明の在り方の検討など

施策(3) スポーツでつながり広がる交流・連携の推進

①スポーツ交流の充実・支援

- ・教育委員会表彰によるスポーツボランティアの顕彰

- ・町民対象のスポーツ大会の充実など

②競技スポーツの支援

- ・教育委員会表彰による功績等の周知
- ・スポーツ優秀選手への補助金交付

- ・全国大会等出場選手の周知など

□評価方法

1. 評価記号の説明

評価記号	説明
◎	・新規に企画された事業で目標が達成された事業
○	・継続事業で目標が達成された事業 ・新規に計画された事業で目標がほぼ達成された事業
△	・継続事業で目標がほぼ達成された事業 ・新規に計画された事業で目標達成が不十分な事業
▲	・継続事業で目標達成が不十分な事業 ・新規に計画された事業で目標がほとんど達成されなかった事業
●	・実施しなかった事業又は目標がほとんど達成されなかった事業

※新規事業は、継続事業よりも企画・調整・準備等に多くの時間・労力を要するため評価を高くしています。

2. 評価基準

「(1) 評価記号」の説明	達成値
「目標が達成された」	90%以上
「目標がほぼ達成された」	70%以上 90%未満
「目標達成が不十分」	50%以上 70%未満
「目標がほとんど達成されなかった」	30%以上 50%未満
「実施しなかった」	30%未満

3. 目標達成の判断基準

- ◇ 事業が目標の趣旨に沿って行われたかどうか
- ◇ 予算執行が適切な時期までに行われたかどうか
- ◇ 会議、イベント等が適切な時期に行われたかどうか
- ◇ 年度当初に作成された実施計画等に予定された事業が実施されたかどうか
- ◇ イベント等の講師・指導者の選定が適切になされたかどうか
- ◇ イベント等の広報宣伝が適正になされたかどうか
- ◇ 会議、大会等の案内状の発送が適正になされたかどうか
- ◇ 参加率の向上のための手立てが適正になされたかどうか
- ◇ その他不適切な部分があったかどうか

#### 4. 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった事業等の扱いについて

◇点検評価の基本的な考え方

事業や活動数で評価をしているのではなく、ねらいが達成できているかで評価する。

①事業そのものがまったくできなかった場合（例：運動会、町スポーツ大会など）

「空欄とする」

事業をやってはいけない状況であり、できなかった事業を評価することはできないため

②いくつかの事業は実施できた場合（公民館体験活動など）

実施状況に応じ、ねらいが達成できたかどうかで評価する「○」「△」など

③予定していた事業に対し代替となる取組を行った場合（通学合宿など）

ねらいが達成できているかどうかで評価する「○」「△」など

令和 4 年度事業 伯耆町教育委員会の自己点検・評価シート

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進	① 確かな学 力と規範意 識の向上、 豊かな心と 健やかな体 を育む教育 の充実	1	学力向上推進計 画策定と進捗管 理	総務 学事	全国学力・学習状況調査及び標準学力 調査(年2回)の結果をもとに、各学校毎 に児童生徒の学力向上に向けた取り 組みを計画的に実施すると共に、継続 的な計画の取り組みによって、的確な 指導体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町教委が標準学力調査及び全国学力・学習状況調査を分析し、学力向上への 視点を提供した。</li> <li>・各学校は、学力向上推進計画を作成し、実施することができた。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査の分析の上に、各学校のPDCAサイクルが回るよう、町教委によって、 町教振・研修・計画訪問・校長会等の機会を捉えて指導助言を行う。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		2	標準学力調査及 び分析の実施	総務 学事	標準学力調査を年2回実施し、学力の 定着状況を把握・分析することで、児童 生徒の課題の改善及び教育施策の成 果と課題を検証する。また、教育指導 の改善、学力向上推進計画のPDCAを 継続的に行う体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教務主任会(現：小中一貫学力向上推進担当者会)において、各学校の学力調 査の結果を校区ごとに分析し共有した。</li> <li>・「SP表」等を活用し、各学校学年・学級ごとの学力の様相を把握する仕組みを整 備した。これにより、学習集団ごとの授業改善の取組につなげることができた。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力調査の分析の上に、各学校のPDCAサイクルが回るよう、町教委によって、 町教振・研修・計画訪問・校長会等の機会を捉えて指導助言を行う。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		3	小中一貫学力・人 間力定着促進事 業 ・学力補充関係 事業	総務 学事	各学校毎に、学習状況に課題のある児 童・生徒を対象にした学力補充教室を 開催すると共に、指導補助員を配置 し、よりきめ細やかな指導体制を整備 することで、児童生徒の学力向上を図 る。 また、英語教育推進を目的に、英語学 習に目的意識を持って取り組めるよう 英検受験料補助事業を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、例年通りの学力補充教室は実施でき なかった。</li> <li>・伯耆未来塾を実施することで学習の場を提供し、生徒の学習習慣の確立や学力 向上の一助となった。</li> <li>・英検受験について、小学生の受験機会を提供した。中学校英語学習や中学校英 語検定受験へつながっている。</li> </ul> <hr/> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保小中一貫教育に、より効果のある事業の充実に向けて事業全体をを整備す る。学力補充教室については数年間実施できていないため、今後の在り方を抜本 的に見直す。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進	① 確かな学 力と規範意 識、豊かな 心と健やか な体を育む 教育(つづ き)	4	体力向上計画策 定と進捗管理	総務 学事	全国体力・運動能力・運動習慣調査の結果をもとに、各学校毎に体力向上計画を策定し、体力向上等に対する的確な指導体制を確立することで、児童生徒の健康増進に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校毎に体力向上計画を策定し、課題に応じた体力向上の取組を実施した。</li> <li>・町内すべての児童生徒のスポーツテストの結果を把握し、全国調査との比較を行った。</li> <li>・各学校ごとの規模の差が大きく、データのばらつきも大きい。経年的系統的な実態の把握方法について、検討を始める。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		5	小学校外国語教 育推進事業	総務 学事	令和2年度から新学習指導要領の全面実施に伴い、導入される小学校での外国語教育の円滑な移行に向けて、町内4小学校を受け持つALT1名を配置する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校への英語教育導入に対応するため、町内全小学校を対象したALTを1名配置して英語教育を支援するとともに、国際理解教育を支援した。</li> <li>・引き続き、児童の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		6	外国青年招致事 業	総務 学事	岸本中学校と溝口中学校にALTを1名ずつ配置し、生徒の英語能力の向上に資する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各中学校にALTを配置し英語学習と国際理解の充実に図った。また、公民館の英会話教室での講師、広報誌にALT通信を載せる等、地域における国際理解の啓発に寄与した。</li> <li>・引き続き、生徒の英語能力の向上と国際理解のためALTを配置する。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		7	栄養教諭による 食指導	給食セン ター	栄養教諭1名、要望による加配職員1名の計2名で栄養指導を行い、学校給食を通じて食育の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栄養バランスのとれた給食を食べることにより、食事の楽しさ、食事の基礎知識の学習など、児童生徒が食事の大切さを学んだ。児童生徒に地元食材を食べてもらうことで、食育の推進を図った。</li> <li>3年度は1学期の間1名体制であったが、4年度は年度を通して2名体制であったため、3年度よりも多く栄養指導等を実施することができた。</li> <li>また、毎年実施していた生産者やセンター職員と児童との交流給食は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、4年度も殆どの学校で中止となった。</li> <li>・県が育休・産休の代替職員等を募集しても、なかなか見付からないことが多々あるため、1人体制になった時の十分な食育、栄養指導等への対応の検討が必要。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	① 確かな学力と規範意識、豊かな心と健やかな体を育む教育(つづき)	8	伯耆町教育振興会事業 ・学校保健	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食調べを全小中学校で行ったほか、生活習慣・アレルギー対応などについて、情報交換を行い、今後の取組の参考とした。</li> <li>・朝食調べを継続するとともに、各保育所・学校での生活習慣改善の取り組みを調査する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		9	運動部活動推進事業	総務学事	地域の専門的指導者を部活動指導に派遣し、部活動の活発化、生徒の技能向上、地域との連携の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校部活動指導員配置事業(国事業)を活用し、岸本中学校でバスケットボール部、柔道部、バレーボール部、卓球部及び陸上部に、溝口中学校では柔道部に部活動指導者を配置し生徒への指導のみならず、教員の負担軽減を図ることができた。</li> <li>・運動部活動外部指導者活用事業(県事業)は活用なし。</li> <li>・引き続き、県事業及び国事業を活用し、専門的指導が必要な部活動に外部指導者及び部活動指導員を配置し、部活動の活発化、生徒の技能向上並びに教職員の負担軽減を図りたい。</li> <li>・休日の部活動の地域移行について検討を進める必要がある。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		10	特別非常勤講師配置事業	総務学事	地域の専門的知識を有する者を県教委に内申し、特別非常勤講師として配置してもらい総合的な学習の一部やクラブ活動を担当させることで、学校教育の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岸本小4名、八郷小2名、二部小4名の推薦を受け、特別非常勤講師を配置した。各自の専門的な知識や技能を活かし、授業の充実が見られた。</li> <li>・引き続き、各学校の実態に応じ、専門的な知識技能を有する者を特別非常勤講師として配置し、授業の充実を図る。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		11	伯耆町教育振興会事業 ・人権教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町人権教育研究大会を10月21日にリモートにより開催し、溝口保育所、溝口小学校の取組を実践発表した。また、人権教育主任会を開催し、人権教育推進の方向性についての共通理解及び各学校の人権教育の取組についての情報共有を図った。</li> <li>・人権学習について、町内の全小中学校で指導事項・内容等の共通理解を図り、共通実践を進めていく。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
1-(1) 知・徳・体のバランスのとれた教育の推進	② 教職員の指導力向上のための研修の充実	12	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・各校研修会	総務学事	各学校の授業研究会へ外部講師を招聘し、授業の質的な向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各校授業研究会のほか、本事業を活用した外部講師の招へいによる授業研究会等を、八郷小1回、二部小1回、岸本中2回、溝口中1回を開催し、学力向上計画を推進した。</li> <li>・学力向上推進計画に定める成果指標が達成されるよう、各種学力調査の分析・研修・授業研究会等が校区ごとの一貫した取組となるよう整備する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		13	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・教委研修会	総務学事	小中一貫教育・人間力定着の取り組みをより有効なものにするため、教員の授業力や管理職等のマネジメント能力を高める管理職研修会等を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中一貫授業力向上研修会として、ICT研修を実施した。</li> <li>・学校評価研修会を実施した。</li> <li>・保小中一貫教育の理念に基づいて、各種研修会の企画意図を明確にし、取組に一貫性を持たせるよう整備する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進	② 教職員の指 導力向上の ための研修 の充実(つづ き)	14	伯耆町教育振興 会事業 ・研究大会	総務 学事	学校教育の諸課題に対応できるよう教 職員の資質向上を図るため、本町独自 の研修を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内保・小・中の全教職員等を対象に、「特別支援が必要な子への関わり方」を 演題とする講演会(講師:山陰労災病院 名誉院長 大野耕策先生)を開催し、特別 支援が必要な子への対応について、学ぶ機会を設けた。</li> <li>・今後のニーズや社会情勢に対応した研修等を開催し、教職員の知識・技能の向 上を図る。</li> </ul>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		15	伯耆町教育振興 会事業 ・授業研究会	総務 学事	授業研究会を開催することで、個々の 教職員の資質・能力を高めるとともに、 教職員の協働性を高め学校力の向上・ 充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>岸本小4回 八郷小6回 岸本中3回 岸本中学校校区合同1回 二部小5回 溝口小4回 溝口中2回 溝口中学校校区合同1回</li> <li>・学力向上推進計画に定める成果指標が達成されるよう、各種学力調査の分析・ 研修・授業研究会等が校区ごとの一貫した取組となるよう整備する。</li> </ul>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		16	伯耆町教育振興 会事業 ・生徒指導	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局 及び出先機関で組織を構成し、各種専 門部会を設置して、町の幼児・学校教 育の研究推進や地域の教育力向上を 図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒指導担当者会2回、研修会1回等を開催した。</li> <li>・第1回生徒指導担当者会 情報交換、夏休みのくらしについて、夏休中の児童生徒向け放送について</li> <li>・第2回生徒指導担当者会 情報交換、冬休みのくらしについて、冬休中の児童生徒向け放送について</li> <li>・研修会</li> <li>町教振研究大会において、山陰労災病院 名誉院長 大野耕策先生の講演会を 開催し、生徒指導の視点を共有した。</li> <li>・保小中一貫教育としての事業展開につながるよう、町教振総会の在り方を検討 する。</li> </ul>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
1-(1) 知・徳・体の バランスのと れた教育の 推進	② 教職員の指 導力向上の ための研修 の充実(つづ き)	17	学校要請訪問、 学校随時訪問	総務 学事	各学校の校内授業研究会での指導助 言や 授業参観・授業評価及び学校長への指 導助言を目的として学校訪問を実施す る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内授業研究会、小中合同研究会に可能な限り参加し、研究推進の進捗を見取 るとともに、教職員への指導助言を行うことができた。また、管理職との協議の中 で、各学校の研究推進への助言を行うことができた。</li> <li>・授業研究会の成果が、学力向上推進計画に定める成果指標達成として現れる よう、取り組みの一層の拡充や目的の明確化を図る。</li> </ul>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		18	学校計画訪問、 行事訪問、講師 訪問、本務者訪 問	総務 学事	各学校の運営状況及び授業実践の把 握を行うため、各種訪問を行い、各校 の課題改善に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町教委学校計画訪問 各小中学校1回</li> <li>・行事訪問(各式典参列)</li> <li>・西部教育局学校訪問 各学校2回</li> <li>・上記の訪問による各学校教育の見取りをまとめて、還元することができた。</li> <li>・教育委員による学校教育の見取りの結果を、今後とも学校に還元し、促進と改 善を促していく必要がある。</li> </ul>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続	① 保育所・小学校・中学校一貫教育委の推進	19	伯耆町教育振興会事業 ・保小中一貫教育	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ではあったが、可能な範囲で専門部会、小中情報交換会を開催し、各校の状況の共有・共通実践項目のチェックや今後の取り組みの確認を行った。また、授業研究会への相互参加による授業改善や保・小、小・中の交流を進め連携を図った。</li> <li>・保小中一貫教育としての事業展開につながるよう、町教振総会で今後数年間の方向性を示す。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		20	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・小中一貫関係事業	総務学事	保小中一貫教育カリキュラムを活かした授業づくりのスキルを高めるよう、各中学校区で全教職員を対象にした授業研究会等を開催し、授業改善の共通認識の醸成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『保小中一貫カリキュラム』の刷新のための準備を行った。また、その効果的な活用方法についても検討した。</li> <li>・『保小中一貫カリキュラム』を完成し、効果的な運用を行う。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		21	スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動)	総務学事	中学校区での保・小・中が校種の枠を超えてスクラムを組み、一貫性のある教育や各種取り組みを行うことで、学力向上・不登校防止・職員間の情報共有等に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>小・中交流会、保・小交流会、授業体験交流、合同研究会等の実施による連携強化、中一ギャップの解消、教員間の情報共有等を図った。また、スクラム教育に関するまとめ冊子を発行した。</li> <li>・岸本中学校区 小中交流会3回 保小交流会2回</li> <li>・溝口中学校区 小中交流会2回 保小交流会3回</li> <li>・町教振保小中一貫教育部会を中心に、校種間の円滑な接続を目指した取組を推進する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		22	中学校教員の小学校への乗入授業	総務学事	小中の職員が互いに乗り入れて学習指導することで、中1ギャップへの対応、専門性を生かした授業内容の充実や学習意欲の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・溝口中学校区において、小学校へ音楽科の乗り入れ授業を行い、より専門的な指導力を生かした授業実践につながった。</li> <li>・教職員の配置によるが、可能であれば乗り入れ授業を実施する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき)	② 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続	23	就学支援検討会	総務学事	小中学校就学について、支援が必要と考えられる子どもに対して、関係機関が連携し、環境を整備することによって就学後の学校不適應などの2次障害を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早い段階での関係機関による連絡会議開催で、対象児童の状況把握を行ったうえで、複数回の観察会、5歳児検診・相談等を経て就学支援検討を行った。</li> <li>※保→小14件、小→中18件の事案について対応・支援</li> <li>・観察記録シートを改善し、視点を細分化したことで、必要な支援についての協議の充実が図れた。</li> <li>・コロナ禍で5月の全体会は開催できなかったが、各小中、保幼の機関との連絡会を個別に行うことで、就学支援の方向性が確認できた。</li> <li>・支援の必要な子どもの多面的状況把握のための関係機関の連携に努め、本人・保護者の思いに寄り添った適切な就学支援につなげる。</li> <li>・西部就学支援検討会に向けて、関係機関との事前協議をさらに綿密に行いたい。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(2) 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき)	② 保育所・小学校・中学校の滑らかな接続(つづき)	24	伯耆町教育振興会事業 ・就学支援	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局等及び関係機関で組織を構成し、就学支援教育充実のための連携推進や小中の小中の特別支援学級の交流活動の推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保小中からみた発達障がいの子どもの理解と支援に関する研修会を開催し、発達障がい子どもたちが抱える課題や分析実験シートによる子どもの見とりなどについて知見を深めた。</li> <li>・次年度も長期休業を利用して、研修を行いたい。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		25	中学校区の児童生徒を語る会	総務学事	小中の連携した支援体制の確立、不登校及びいじめ問題等の未然防止のため、各中学校区児童生徒を語る会を開催し、関係者の情報交換と未然防止のための協議を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区毎に、児童生徒を語る会(小中学校担当教員、SC、SSW、教育委員会指導主事等参加)を開催し、関係者による育ちを見据えた情報共有といじめ問題等の未然防止のための協議及び連携した支援体制の構築に努めた。 岸本中校区：各学期1回、溝口中校区：各学期1回</li> <li>・不登校及びいじめ問題等の未然防止、早期発見、早期連携の一層の重要性を再確認し、校区、SC、SSWとの連携を強化していく。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
1-(3) 人にやさしい学校教育環境の整備	① 人にやさしい学校教育環境の整備	26	少人数学級実施事業	総務学事	小中全学年30人学級の実施によりきめ細やかな教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岸本中 1・2・3年⇒少人数学級実施 定員5名増</li> <li>・上記により、きめ細やかな学習指導、一人ひとりの変化への気づきによる速やかな生徒指導の両面で教育効果をあげている。このほか、学校からは、不登校等の諸問題についても、有用性が認められると報告されている。</li> <li>・今後は、小学校において増加が想定される複式学級への対応を検討する必要がある。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		27	スクールソーシャルワーカー活用事業	総務学事	いじめや不登校など児童生徒の問題行動を環境面から解決するために、スクールソーシャルワーカーを配置し、関係者・関係機関が協力して、児童生徒の抱える課題解決にチームで取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSW1名、SSWS2名を配置し、学校・関係機関と連携・情報共有のうえ、問題を抱える児童生徒の個別の状況や問題点の把握・確認、支援方針の確立等、支援を行い課題の解消につなげた。</li> <li>・ケース会議数 教職員：13回 関係機関含：31回</li> <li>教育支援センター相談員をSSWS(サポーター)として学校へも不定期に派遣し、よりタイムリーな相談活動、情報収集活動を行う。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		28	スクールカウンセラーとの連携	総務学事	本町のスクールソーシャルワーカー、早期支援コーディネーター等と県教委雇用のスクールカウンセラーが連携することで、児童生徒の抱える課題解決に向けた支援体制を強化する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SSWとSCの勤務日を合わせる工夫を図り、教職員とも一緒に児童・生徒の状況把握や問題点の確認をおこない、役割分担あるチーム支援が行えた。</li> <li>・困難事例や、突発的な事故等の発生時の援助体制の一層の整備を図る。</li> <li>・継続事業だけでなく、未然防止の視点からのチーム連携の強化を図る。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 人にやさしい 学校教育環境の整備	① 人にやさしい 学校教育環境の整備	29	特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター	総務学事	特別な支援が必要となる可能性がある子ども及びその保護者に対し、学校・家庭・関係機関との連絡・調整を行う早期支援コーディネーターを配置することで、早期からの情報提供・相談会実施など柔軟できめ細やかな対応ができる一貫した体制を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・LD等専門員や保健師等と連携し、訪問による行動観察や発達検査等から、必要な指導や支援について、保育士や担任等への実効性ある具体的助言指導を行った。</li> <li>・保護者への相談会を実施し、発達障がいをはじめ、様々な支援が必要な幼児・児童について、生活上必要な支援の助言や、就学先についての情報提供等を行った。</li> <li>・早期支援チーム会議での情報共有を通し、3歳児健診からの幼児の実態把握・課題共有に努め、適切な就学支援に向けた具体的連携体制を構築する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		30	特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等	総務学事	特別支援学級に在籍する児童生徒の内、日常的に介護等が必要な児童生徒と通常学級に在籍するLD、ADHD、アスペルガー症候群等の児童生徒に対する学習支援、安全確保等を行うことで担任と児童生徒が安心して授業に取り組める環境を整備し、教育効果を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習支援員を配置することで、対象児童生徒の安心できる教育環境を整備するとともに、担任教員の効果的な授業づくりや学級経営に専念できる環境を整備した。</li> <li>・学習支援員 岸本小6名 八郷小1名 溝口小2名 二部小1名 岸本中1名 溝口中1名</li> <li>・卒業まで継続的な支援が必要となることが多いことや、近年対象児童生徒が増加する傾向にあるため、学習支援員等の確保と、研修会等への参加を促進することで専門知識・技能の一層の向上を図る必要がある。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		31	学校図書整備及び図書館学校司書配置	総務学事	各小中学校に司書教諭補助職員を配置し、学校図書館を利用した学習の充実や児童生徒の読書活動推進に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司書教諭補助職員として学校司書を全小中学校に配置し、司書教諭及び学級担任、教科主任等と連携しながら児童生徒の学習を支える学校図書館づくり、読書活動推進に努めた。</li> <li>・児童生徒の学校図書館利用を多面的に見つめ、活字離れの解消につなぐ魅力ある環境づくり、読書活動の推進に努める。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		32	校務支援システムの活用	総務学事	校務支援支援システムを導入し、個々の教職員の持つ様々な児童生徒の情報や指導要録などを発信・受信・共有・一元管理することで、教職員の多忙感解消や教育の資質向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員の多忙感解消や教育の質向上のため、県内全小中学校に共通の業務支援システムが導入され、平成30年度より運用開始となった。校務支援システムを活用することで、教職員の業務が軽減された。</li> <li>・システム研修等を重ねて、一層の有効活用を図る。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		33	教育支援センター運営事業	総務学事	溝口体育館内に設置した教育支援センターにおいて、不登校等の児童生徒への学習支援や生活指導を行う。また、いじめや友人関係などの悩みを抱える児童生徒・保護者の相談活動を行い、不登校・問題行動等の未然防止を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通級児童生徒 中学生3人 小学生1人</li> <li>・学習指導員1名、相談員2名を配置</li> <li>・毎月定例会を開催しSSWとの情報共有を図り、該当校との連携に努めた。</li> <li>・通所生徒の保護者の相談にも寄り添い、関係機関での連携体制の構築を図った。</li> <li>・子どもの状況を把握した上での必要な支援について長期的な視点と短期的な視点とを持ちながら、関係機関の一層の連携を図り、子どもの社会的自立をめざした支援に努める。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 人にやさしい 学校教育環境 の整備(つづき)	① 人にやさしい 学校教育環境 の整備(つづき)	34	就学援助事業 ・要保護、準要 保護	総務 学事	生活保護、生活保護に準ずる者、非課税・母子家庭等を対象とし、金銭的に生活が苦しい保護者に対し教育費(学用品、給食費)を援助することで、保護者の教育を受けさせる義務の遂行を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度認定:84名(54世帯)</li> <li>※昨年に引き続き、母子、父子家庭が半数以上を占める(45/54)。</li> <li>※入学前支給(14名)</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		35	就学援助事業 ・特別支援教育 就学奨励金	総務 学事	特別支援学級に通級する児童生徒の保護者に対し、学用品や給食費を支援することで金銭的負担を軽減し、義務教育の遂行を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度認定:23名(22世帯)</li> <li>※世帯の収入・世帯員によりI～Ⅲ区分に分ける。なお、区分により支給対象経費が異なる。</li> <li>※支給額は、要保護・準要保護の2分の1程度。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
1-(3) 人にやさしい 学校教育環境 の整備(つづき)	② 安全安心で 質の高い教育 を支える 教育環境の 整備	36	学校施設整備事業	総務 学事	老朽化施設や大規模な修繕が必要とされる施設について、長寿命化や安全性の向上等を図り、児童生徒の教育環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>老朽化した施設の改修工事を行い快適な学習環境を整備した。</li> <li>【主な施設修繕】</li> <li>二部小学校・溝口中学校グランドフェンス設置工事</li> <li>岸本中学校グランド整備工事</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		37	小学校施設修繕事業	総務 学事	小学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。</li> <li>【主な施設修繕】</li> <li>岸本小:音楽室エアコン修繕、防火扉自閉装置取替ほか</li> <li>八郷小:プールシャワー改修、自動火災報知設備整備ほか</li> <li>二部小:プール床面補修、玄関屋根防水補修ほか</li> <li>溝口小:空調設備修繕、プールろ過機修繕ほか</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		38	中学校施設修繕事業	総務 学事	中学校校舎等の損傷・老朽化を修繕し、安全安心な環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損傷・老朽化した施設の修繕を行った。</li> <li>【主な施設修繕】</li> <li>岸本中:プール床面補修、受水槽内コーティングほか</li> <li>溝口中:グランド防球ネット支柱他撤去、屋外スピーカー取替ほか</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 人にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	② 安全安心で 質の高い教育を支える 教育環境の整備(つづき)	39	教材、教具、教育備品及び教育施設整備事業	総務学事	各学校における教材・教具・備品の整備を行うことで、多様化する教育に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校児童生徒数に応じ、管理備品・振興備品の予算配当を行い、必要な教材・教具・備品を整備した。</li> <li>・引き続き、必要な備品等を整備し、多様化する教育に対応していく。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		40	学校安全体制整備推進事業	総務学事	小学校において、実践的事例に対応できる学校安全ボランティアを活用した効果的な安全体制を整備するためスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校区ごとにスクールガードリーダーを各1名配置。定期的に学校・通学路等の巡回、児童・生徒への指導、学校への助言等を行った。</li> <li>・今後もスクールガードリーダー2名を配置し、見守り体制の整備・巡回指導等を継続し行う。今後、後継者の人材確保を検討していく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		41	バス事業担当課との連携	総務学事	バス事業担当課と連携をとり、スクールバスによる通学を、より安全かつ充実するよう運行体制の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関等と協力し、スムーズなスクールバス運行体制を確保した。</li> <li>・引き続きバス担当課と連携をとり、ニーズ等を踏まえた利便性の高い運行体制やバス利用の際のマナーの徹底などに取り組む。事故等があった場合の対応について検討する。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		42	ICT環境の整備	総務学事	ICT教育の充実を図るため、設備・ソフト等ICT環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員支援のためのICT支援員の配置(2名)、導入機器の保守管理・トラブル対応、フィルタリングソフトの導入による有害サイトアクセス制限やオンライン授業で発生する著作権料支払い(授業目的公衆送信補償金)等により、効果的かつ安定的なICT活用体制を整備した。</li> <li>・引き続き、ICT教育充実のために設備等の修繕等、環境整備を図るとともに、教員支援も行う。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		43	防災教育・避難訓練・防災関係計画の充実	総務学事	各学校毎に防災教育・避難訓練・避難計画作成等を行い、災害時における児童生徒の安全確保に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校作成の学校安全計画や危機管理マニュアルに基づき、防災教育、避難訓練等を実施した。浸水想定区域や土砂災害警戒区域にある学校については、水防法及び土砂法に基づき避難確保計画を策定し、緊急時に備え各小中学校で避難訓練等を実施した。</li> <li>・今後は、避難確保計画等に基づく防災・避難訓練などを行い、緊急時の対応能力を高めるほか、PDCAサイクルにより計画等の実効性を高めていく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
1-(3) 人にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	② 安全安心で 質の高い教育を支える 教育環境の整備(つづき)	44	学校給食施設管理運営事業	給食センター	安心・安全な学校給食を提供するため、給食センターの適切な管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理業務等の民間委託契約の最終年度(令和2年度から)であったため、プロポーザル方式により委託業者を決定し、令和5~7年度の契約を締結した(事業者の変更なし)。</li> <li>各種細菌等検査の実施、清掃・衛生の徹底など。</li> <li>調理委託事業者から報告があった調理備品等の不具合修繕、買い替え。</li> <li>学校給食食物アレルギー対応委員会を開催し、アレルギー対応の問題点等がないか確認を行なった。</li> <li>学校給食だよりに給食のレシピを毎月1品ずつ掲載した。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、安心安全な学校給食提供に支障が出ないよう、事務等を進め、アレルギー対応については、問題点等があれば改善していく。</li> </ul>						
		45	学校給食費補助事業	給食センター	給食費の保護者負担を軽減するため、1食につき200円の補助を実施する。 1食当り保護者負担額 小学生100円、中学生150円	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者負担の軽減と安定的な給食の供給ができた。</li> <li>200円/食 補助額 28,607,007円 (手術後に固形物が食べられなかった児童の牛乳のみ補助1,007円を含む。)</li> <li>令和5年度は、学校給食費 1食当り10円を値上げするが、併せて補助額を1食当り10円増額し、210円の補助を行い、保護者負担の軽減を図っていく。</li> <li>1食当り保護者負担額 小学生100円、中学生150円</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		46	食材供給連絡協議会との連携	給食センター	伯耆町内の農業生産者で構成する組織である食材供給協議会と連携しながら、伯耆町産の食材使用に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>協議会との調整会議を月1回開催</li> <li>伯耆町産使用率【鳥取県調査対象の44品目(野菜だけでなく、魚介類等も対象)のみの割合】52.8%(前年度54.1%)</li> <li>町内産のみで賄えた主な食材 白ねぎ、メロン、りんご、梨、いちご、ピーマン、そうめんかぼちゃ、ヤーコン、かぶ、スナップエンドウ、ズッキーニ、ゴーヤ等</li> <li>町内産食材の使用率の一層の向上</li> <li>協議会会員の高齢化等に伴い、会員数が徐々に減少。町内生産者の拡大を図ることが必要。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
47	伯耆町教育振興会事業 ・学校事務	総務学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局及び出先機関で組織を構成し、各種専門部会を設置して、町の幼児・学校教育の研究推進や地域の教育力向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>共同学校事務室で取り組む業務の改善と標準的な職務内容を理解し校務運営に参画することを重点目標として、定期的な会合を開催し、共同学校事務室で取り組む事項についての業務分担・調整や危機管理研修として安全点検に関する研修を行った。</li> <li>共同学校事務室として予算執行できるように予算科目の整理を行った。</li> <li>共同学校事務室での業務について更に調整・検討していくことで、校務運営への参画につなげていく必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
1-(3) 人にやさしい 学校教育環境の整備(つづき)	②安全安心で 質の高い教育を支える 教育環境の整備(つづき)	48	青雲寮管理運営事業	総務学事	溝口中学校生徒の冬期間の寮として使用していた青雲寮を、町内社会体育団体の合宿や通学合宿に利用するとともに、適切な施設の維持管理及び運用に努める。	溝口中学校調理教室及び合宿等その他利用ができるように適切な施設の維持管理及び運用に努めた。  継続して適切な維持管理を行う。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
2-(1) 学校・家庭・ 地域・行政 の連携	①家庭・教育 の充実	49	家庭教育支援事業	生涯学習	家庭の教育力の向上や子どもたちがマナー・自立心等を身につけるための支援を行う。	・コロナ禍の状況下や大雪による青少年育成伯耆町民大会の中止により、各保育所、学校における家庭教育・子育て講演会が中止となった。 ・1歳6か月検診の待ち時間を活用して、家庭教育支援チーム事業「読み聞かせのすすめ」を計画したがコロナ感染予防のため実施できなかった。 ・チームの構成各課での取組や家庭教育支援チームの取組の周知をねらい、広報等で知らせた。  ・今後も保育所・小中学校、家庭教育支援チームとの連携を図り、親育ちの観点で取組を推進する。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		50	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業	総務学事	小学校1年生から中学校3年生までの発達段階に応じた家庭学習や正しい生活習慣について、解説した「家庭教育ハンドブック」を小学校新入生に配布する。	・小学校入学生への配布の際に、就学前から中学校卒業を見据えた町HP掲載の3冊(前期編・中期編・後期編)の紹介を行い、活用を促した。 ・学年懇談・学級懇談で、話題とする事項に関連するページを配布。 ・学校運営協議会でも学習時間の目安など、記載内容について話題に取り上げ、共通理解を図った。  ・今後も、家庭教育ハンドブックの配布を引き続き行いたい。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		51	PTA協議会補助金	生涯学習	町内小中学校6校のPTAが合同で活動を行う伯耆町PTA協議会に対し補助金を交付することで、PTA活動の活性化に寄与する。	例年町と共催で講演会を開催し、講師料に対する補助金を支出しているが令和4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により補助対象となる事業が実施されなかったため、補助金交付は無かった。  伯耆町PTA協議会との連携体制を継続しつつ、PTA活動の活発化に向け支援する。 伯耆町PTA協議会が事業実施される際には、補助金を交付する。	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 学校・家庭・ 地域・行政 の連携(つづ き)	② まち全体で 子どもを育 む地域と共 に創る学校 の推進	52	学校運営協議会 運営事業	総務 学事	学校運営協議会制度(コミュニティ・ス クール)を導入し、保護者・地域・学校が 一体となって、学校経営に参画し、地域 に開かれ、地域に根差した学校づくりに 取り組む。 平成30年度からは、各学校運営協議 会の調整、学校支援活動の情報提供 や地域学校協働本部事業の運営を行 うため、CSディレクターを配置した。	・全小中学校で学校運営協議会指定及びCSディレクターを配置し、各コミュニ ティ・スクールや地域学校協働本部事業の連携・調整・情報共有等を推進する伯 耆町教育ネットワーク会議を設置することで、一体的に「地域とともにある学校づく り」を推進することができ、教職員の地域に対する意識改革や地域・保護者の学 校経営への理解を深め、積極的な協力が得られるようになった。児童生徒も地域 に目が向くようになった。  ・学校運営協議会の取組を広報誌で紹介するなどして、町民へのさらなる周知を 行いたい。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		53	地域学校協働本 部事業	生涯 学習	地域住民が教育に関心を持ち、学校の 教育活動に関わることで、子どもたちに 多様な体験と交流の機会を提供し、確 かな学力と人間力を向上させる。大人 にとっても、新しい仲間づくり、生きがい づくりなど、地域の絆づくりに繋げる。	①支援実績 学習支援235件、環境整備119件、学校行事8件、 児童生徒による地域貢献11件 ②会議 コーディネーター定例会7回 ③研修 全国コミュニティ・スクール研究大会 県コミュニティ・スクール推進研修会兼地域学校協働活動研修会 ※いずれもデジタル・フォーラムで配信されたものを視聴し、資料や内容をまとめ て各校に配付した。  ・新しい生活様式の下での持続可能な学校支援ボランティア体制の充実。コミュニ ティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進。 ・学校教職員と学校支援コーディネータとの連携・協働による、社会に開かれた教 育課程の実現に向けた取組及び小中一貫した流れに沿ったコミュニティ・スクールの 取組推進。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		54	伯耆町教育ネット ワーク会議事業	生涯 学習	社会の一員として自立していく児童生 徒育成に向け目指す人間像を設定し、 その実現に向けた保小中一貫した共通 の取組等の協議を行う。	「あいさつの響きあう町 伯耆町」の取組を推進するために、学校・保護者だけ なく、より広く地域住民と目標を共有する取組を進めた。→ チラシ、ポスター、広 報紙、防災無線、のぼり旗等の広報活動を工夫しながら、効果を上げた。ネット ワーク会議はコロナ禍の為実施できなかった。  引き続き、関係機関、地域住民に運動を広げていくために、あいさつ運動に関する アンケートを行って実態を把握し、広報誌等を活用した広報活動を行う。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(1) 学校・家庭・ 地域・行政 の連携(つづ き)	② まち全体で 子どもを育 む地域と共 に創る学校 の推進(つづ き)	55	子供の体験活動 事業	総務 学事	各学校で独自に、地域学校協働本部と 連携し、地域の協力を得ながら、体験 活動を実施する。	<p>主な活動 ○作物・米・花栽培 ○遠足の協力 ○スキー教室等</p> <p>学校の教育課程と関連させた活動に地域の方々を巻き込んでいけるよう、学校運 営協議会や学校支援コーディネーターと引き続き連携していきたい。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		56	放課後子供教室	生涯 学習	子どもたちの放課後の居場所づくり・保 護者の就労支援のほか、子どもたちが 安心・安全に過ごしつつ、異学年交流・ 地域の大人との交流や体験活動などを 通じて、コミュニケーション力や地域の つながりを育む。また、放課後児童ク ラブとの連携も図り、一体型の取組を進 める。	<p>実施状況 ・溝口小放課後子供教室 週3回(月・火・木) 71回 ・岸本小放課後子供教室 週3回(火・水・木) 84回</p> <p>主な活動 ・体力づくり、学習、読み聞かせ、工作等 ・季節を重視したプログラム、指導者の得意分野を生かした指導の工夫等 一体型の工夫 ・児童クラブ指導員との連携による教室の開催・見守り体制の工夫</p> <p>・安全管理マニュアルの活用と安全面を十分に配慮した活動。 ・指導する人材の確保と指導体制の充実(情報共有による活動状況の把握と改善 に向けての協議)。 ・多様な子どもの特性を理解した運営(学校との連携)。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		57	伯耆町教育振興 会事業 ・地域教育	総務 学事	保育所、小中学校、教育委員会事務局 及び出先機関で組織を構成し、各種専 門部会を設置して、町の幼児・学校教 育の研究推進や地域の教育力向上を 図る。	<p>地域とともにある学校づくりフォーラムへ参加した。 専門部研修会の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症感染状況に より中止。</p> <p>・「地域の資源(人、もの)を知るための事業」として、各学校のコミュニティスク ール担当と学校支援コーディネーターの情報交換会開催を検討する。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
2-(2) みんなで取 り組む青少 年の健全育 成	① 「共育」「見 守り」環境の 整備	58	青少年育成伯耆 町民会議運営支 援	生涯 学習	地域全体で青少年の健全育成の推進 を図ることを目的に、町民会議を支援し 各種事業を行う。	<p>・委員会の開催(感染対策を講じて2回開催した) ・青少年育成伯耆町民大会は、1/29開催予定としていたが、大雪により中止とし た。 ・町民あいさつ運動の実施(4回) ・マナーアップさわやか運動参加(新型コロナウイルス感染症対策により中止) ・少年を守る店啓発事業(25店舗) ・「家庭の日」標語の募集(応募数475点) 「家庭の日」標語について、入選作品(33点)をCATVで放送するなど周知を図つ た。</p> <p>・青少年育成伯耆町民会議の活動を町民に広報やHPでの周知が必要。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき)	① 「共育」「見守り」環境の整備(つづき)	59	高校生サークル ((旧)高校生ユースセミナー)	生涯学習	町内の高校生でサークルを組織し、地域貢献活動や事業の企画・運営を通して、地域愛や自主性・責任感を高め、まちの将来を支えるリーダーの育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、活動ができない状況にあり、積極的な新規加入への働きかけができなかった。</li> <li>・来年度に向け、既に高校生サークルを組織し活動を実践している町の募集・活動内容等について担当者に聞き取りを行った。</li> <li>・コロナ禍で活動が停止して3年になるため、高校生年代が完全に入れ替わってしまったため、ゼロから参加者の募集が必要。</li> <li>・継続的に事業を行えるよう、中学生年代からボランティア活動に積極的に参加している児童に声をかける等工夫が必要。</li> <li>・中学校と連携し、中学生⇄高校生の流れを作るよう働きかける。</li> </ul>	▲ 継続事業達成不十分50%以上又は新規事業未達成30%以上
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき)	② ふるさとを支える青少年の育成	60	子供の体験活動事業	岸本公民館  溝口公民館	夏休みを中心に、学校、地域と連携し、子どもたちを対象に自然体験、創作活動等多様な学習機会を提供する。事業の企画にあたっては、町内の関係機関と調整し、保護者への案内も一つの冊子で行い、好評を得ている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、地域、公民館教室等の連携をもとに、自然体験、文化活動などの体験を通して子どもたちの協調性や社会性の醸成を図った。</li> <li>・夏休み体験事業は公民館教室体験事業(4教室5事業)や公民館主催事業の巣箱作りを実施し、46名の参加があった。</li> <li>・土曜日のお楽しみでは、2回の開催で延べ19名の参加があった。</li> <li>・引き続き八郷小児童も参加しやすいように八郷小学校を会場とした子ども体験事業の機会を設ける。</li> <li>・学校・地域・公民館教室等の連携をもとに、自然体験、郷土学習、文化活動などの体験を通して子ども達の協調性や社会性の醸成を図り、強くたくましく生きる力を持った子どもの育成を図った。高齢者教室の学園生や公民館各教室・同好会、また地域の方々の協力で、世代間交流を推進した。</li> <li>・夏季休業中に8事業を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止する事業があった。3事業を実施し40名参加があった。冬季休業中に1事業(前年1)を実施し、8名の参加があった。</li> <li>・子どもたちの興味関心を喚起する工夫も大切にしながら、子どもたちに体験を通じて日本の伝統的文化等は継続発展させるよう取り組んでいく。</li> <li>・飲食を伴う事業については、感染状況等を勘案し、感染対策を講じながら実施する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき)	② ふるさとを支える青少年の育成	60 (つづき)	子供の体験活動事業(つづき)	二部 公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・地域・公民館教室の連携をもとに、自然体験、ものづくり活動、地域歴史体験などを通して、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。また、新型コロナウイルス感染症の拡大の影響で事業が十分に開催出来なかった。感染対策を講じながら、森のようちえんの子どもたち・保護者及び二部地域で活動している団体(つくしの会、二部梁山泊、だんだんプロジェクトなど)と協力し事業を実施した。</li> <li>・夏休みの事業は新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら実施した。</li> </ul> 実施回数:20 延べ参加人員:487名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民・子ども・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進。</li> <li>・本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、4館合同の事業を継続していき、子どもたちの交流を図る。</li> <li>・本年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかったが、米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設する。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				日光 公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校・地域・公民館教室等の連携を基に、自然体験や文化活動などの体験を通じて、子どもたちの協調性や社会性の醸成を図ることができた。また、新型コロナウイルス感染症対策をとり、土曜事業(1回・7名)・夏休みのお楽しみ事業(1回・9名)・溝口小学校の「冬みつけ」(1回・32名)を実施した。</li> <li>・日光地区協議会主催事業の「大山日光清流まつり」では、ヤマメつかみ取りなどの自然体験・地区住民同士の交流や義方校区の親子との交流を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止ため中止とした。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民や日光地区協議会と連携し、日光の特色を生かした事業内容を工夫するとともに、内容を見直しながら無理の無い取組を検討をしていきたい。</li> <li>・特に飲食を伴う事業については、新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必要。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上	

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
2-(2) みんなで取り組む青少年の健全育成(つづき)	② ふるさとを支える青少年の育成(つづき)	61	二十歳を祝う会 (旧成人式)	生涯学習	明日の伯耆町を担う若者たちが、社会人として新たなスタートを切る節目に、二十歳を祝福し激励する記念式典を開催する。	<p>感染拡大防止対策を徹底して行い、式典時間を短縮して対面で実施。 開催日:8月15日(月) 会場:鬼の館 参加者:53名 欠席者向けに式典の様子を収録し、後日動画配信サイトで配信を行った。</p> <p>成人年齢の引き下げに伴い、対象年齢について検討。17歳~20歳にアンケートを実施し、従来通り20歳を対象とし、式典名称を「伯耆町二十歳を祝う会」と改名して開催した。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		62	通学合宿事業	生涯学習	「青雲寮」で子ども達が共同生活を行いながら通学することにより、子ども達の協調性や社会性を高めるとともに、親への感謝の気持ちを養うよう努める。	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。 代替事業として、大山青年の家で体験事業を行った。 実施日:11月27日(日) 内容:野外炊飯、ウッドクラフト 参加者:4名</p> <p>長期宿泊を伴い、密の状況となりやすい事業のため、コロナ禍での実施の検討、安全対策の検討が必要。 次年度は、期間を短縮(2泊3日)にする等、開催委方法を検討し実施の方向で事業を進める。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		63	読谷村教育交流	生涯学習	沖縄県読谷村と伯耆町の子どもの交流を通じて、それぞれの伝統文化に触れるとともに、子どもの健全育成に寄与する。	<p>隔年開催のため、令和4年度は開催なし。次回令和5年度開催。</p> <p>・参加者が集まりにくい。学習会等事前準備の充実を図る必要がある。 ・ジュニアリーダーの高校生の確保が課題。 ・冬の交流の受入れ側のスタッフ体制。</p>		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進	①生涯学習の推進	64	公民館改修又は空公共施設の有効活用	生涯学習	溝口中学校特別教室棟の老朽化のため改修が必要な状況のため、調理教室を青雲寮に移転することで施設の有効活用を図るよう、令和2年度に改修工事を完了した。	事業完了(令和3年度) 更なる有効活用を図ることが必要。	
				溝口公民館	溝口公民館改修工事による長寿命化及び省エネ化等を図り、施設・設備の適正管理及び利用者の利便性の向上を図る。	事業完了(令和3年度) 更なる有効活用を図ることが必要。	
		65	生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)	岸本公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供した。 また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松栄学級(高齢者学級、受講生30名)は、3年ぶりに4月に開講式を行い、当初計画どおり年10回開催することができた。延べ194名の参加があった。</li> <li>・成人講座は教養講座と町外研修を各1回開催し、23名の参加があった。</li> <li>・家庭教育支援講座は、親子写真教室(植田正治写真美術館フォトスクール参加)を開催し、11組26名の参加があった。</li> <li>・八郷地区の住民に対し、生涯学習機会の提供を図るため令和元年度から図書館と連携し八郷小学校を会場に出張公民館・図書館を開催。4回開催し、延べ18名の参加があった。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
溝口公民館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松栄学級の受講生数は、平成30年度から35名程度で推移しているが、年々減少傾向にある。アンケートを反映し、町外研修や参加してみたくなる講座を実施する。また、送迎バスを運行していること等周知を図る。</li> <li>・出張公民館・図書館は、参加者は少人数だが楽しみながら学習している過去の実績もあり、引き続き実施する。八郷小学校を利用していることもあり、平日の限定された時間の開催となっている。また、会場までの交通の便、参加者や年代層の固定化が課題。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上					
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・貴寿学園(高齢者教室) 町内外研修 計7回開催 延べ221名(昨年77名)参加。高齢者へ他機関と連携して様々な分野から学びの場を提供し、生きがいや健康づくりと合わせ、他の公民館との交流促進を図った。</li> <li>また、布絵本づくり体験教室を月2回のペースで開催し、参加者アンケートでの振り返りは満足度が高い。(延べ123人参加(前年87人)、年間19回(前年15回))</li> <li>・成人講座として手作り教室を2回(前年0回)開催し、延べ25人の参加があった。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上	
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・学園生の高齢化に伴い、会員は減少傾向にある。引き続き継続して呼びかけを行っていききたい。学園生や住民のニーズを捉えながら、学びの多い研修・講座を企画していききたい。学園生は、令和3年度64人 ➡ 令和4年度54人。</li> </ul>		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき)	① 生涯学習の推進(つづき)		生涯学習支援事業(各種教室・講座の開催)(つづき)	二部 公民館	年間を通し、各年代を対象に、それぞれの地域性を把握した上で、多様な学習機会を提供する。 また、地区の住民の皆さんには、様々な学習活動を展開することで、生きがいづくり、交流やまちづくりにも協力していただいている。(つづき)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民・子供・保護者・学校など連携した事業の実施ができており、引き続きこうした連携事業を推進していきたい。</li> <li>・4館合同の事業を継続していき、子供たちの交流を図りたい。</li> <li>・米子高専出前講座など、専門的な体験のできる講座を引き続き開設していきたい。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・多々楽学園・女性学級ともに、新型コロナウイルス感染症の感染対策を講じながら活動した。</li> <li>多々楽学園:会員数47人、事業実施回数15回、延べ参加者数212人</li> <li>女子学級:会員数52人、事業実施回数12回、延べ参加者数120人</li> <li>引き続き会員等のニーズを把握しながら、学びの多い研修・講座を企画したい。</li> <li>・会員数はいずれも横ばい傾向であるが、既会員の呼びかけや、地域での呼びかけを行い、多くの地域住民に参加いただけるよう努力したい。</li> </ul>	
			高年齢者教室交流事業	溝口 公民館	各公民館の高年齢者教室合同研修会の開催により、日頃の学習成果の発表を行なうと共に、相互の親睦と交流を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伯耆町内の4つの公民館合同の研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から発表会は実施せず、講演、交流会だけ実施した。参加者85名</li> <li>開催日:7月1日(金) 会場:鬼の館</li> <li>・健康対策課との共催で「健康づくりフォーラムを開催した。参加者62名</li> <li>開催日:11月26日(土) 会場:鬼の館</li> <li>・4公民館の高年齢者教室学級生寄稿による文集「だいせん」を作成・配布</li> <li>作成部数 240部</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・高年齢学級の役員で構成する「合同役員会」を開催により、企画立案を図る。参加型の講演により、参加者の満足度が向上。4公民館協力して継続実施していきたい。</li> <li>・文集「だいせん」の作成は、学園生に負担感となることがないよう配慮する。</li> </ul>				

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき)	① 生涯学習の推進(つづき)	67	社会教育委員	生涯学習	社会教育の推進のために法に基づく委員を委嘱し、社会教育施策等について、事業計画・事業実施結果等の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育委員会開催(2回)</li> <li>・社会教育に関する政策等について意見聴取を行った。</li> <li>・教育委員会の諮問を受け成人式のあり方について検討し、答申を行った。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		68	生涯学習まちづくり推進事業	公民館	生涯学習に関する各種学習情報や発表の場を提供することで、生涯学習への参加を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CATV、町広報等を活用しての情報提供、学習相談</li> <li>・ほうき生涯学習ニュースの発行(毎月)</li> <li>・柏耆町ホームページで生涯学習に関する催し物、情報提供</li> <li>・四館の公民館同好会(教室)募集チラシをまとめて、区長便で全戸配布</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		69	社会教育主事等の育成	生涯学習	生涯学習事業の推進を図るため、社会教育委員・社会教育主事の資質向上及び新規資格取得者の育成に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西部市町村の社会教育主事等で構成する西部地区社会教育担当者研究協議会及び西部地区社会教育協議会に参加し、情報交換や共同事業を実施した。</li> <li>・資質向上のため各種研修会に参加するとともに、事業の企画立案を行い、経験を積むことができた。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
						<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続して研修会等に参加し、資質向上や情報交換に努める。社会教育主事は1名発令されている。必要に応じて、新規の社会教育主事講習受講者を増やしていきたい。</li> </ul>	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき)	①生涯学習の推進(つづき)	70	地区公民館との連携	公民館	地区公民館との連携を強化するため、公民館定例会(各館長と生涯学習室職員が参加)を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習室と各公民館で定例会(月1回開催)を開催し、行事内容の打合せや業務内容などの相互調整により、円滑な業務連携を行うことができた。</li> <li>・特に新型コロナウイルス感染拡大防止に係る共通認識を図った。</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報交換等により、有効な事業を他の公民館も実施するなど、良好な連携ができており、継続実施する。また、小中学校を活用した公民館活動について、学校運営協議会などで検討し、学校と地域が連携した取り組みを推進したい。</li> </ul>		
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき)	②読書活動の推進	71	図書館管理事業	図書館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「読書活動」が大人から子供まで生涯学習の基盤になることから、すべての世代に向けた事業を展開し、少しでも多く「読書」に親しむ環境づくりに努める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読書活動を推進するため、図書館来館の契機となる事業を展開した。</li> <li>5月・・・子ども読書推進イベント</li> <li>8月・・・よの図書館(子ども向け)</li> <li>10月・・・親子ふれあいコンサート</li> <li>11月・・・夜の図書館(大人向け)</li> <li>11月・・・読書推進イベント</li> </ul>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
					<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書館から遠い場所にあつて、図書館を活用したいと希望する地域に図書をお届けすることを目的として「出前図書館」を活用してもらう。希望する集落に届ける。</li> </ul>		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき)	②読書活動の推進(つづき)	72	図書館振興事業	図書館	<p>・利用者のニーズに応えるという図書館サービスだけでなく、親しみやすく、かつ開放的な施設として、また町づくり、人づくりに役立つ施設として、新規事業を加えながら、各年代への読書推進に努める。特に子供たちの読書活動の推進や利用しやすい環境づくりに向けて各種事業を行う。</p>	<p>(1)子育て支援事業 ・ブックスタート事業(年12回)、ブックセカンド事業、ブックサード事業、にこにこおはなし会、乳幼児出前おはなし会、保育施設への本の配送 ・家庭教育・子育て支援チームとの連携、読み聞かせの効用・スマホ弊害等啓発</p> <p>(2)学校支援事業 ・団体貸出し及び本の配送・土曜事業・施設見学、職場実習受け入れ ・学校図書館支援センターとしてのレファレンスの確立 ・町教振図書館部会との連携により、各学校における図書館教育の充実支援 ー町小中学校共通年計の作成(県立図書館と協力)指導案の作成 ー図書館教育推進町</p> <p>(3)読書活動推進事業 ・こどもの読書週間事業・秋の読書週間事業</p> <p>(4)高齢者支援事業 ・あたまイキイキ音読教室・高齢者福祉施設への本の配送・出前図書館</p> <p>(5)広報事業 ・図書つうしん発行・町ホームページ掲載 ・CATV「とっておき図書館」コーナーの充実</p> <p>(6)研修事業 ・鳥取県図書館大会への協力・県内図書館視察・県立図書館主催研修参加</p> <p>(7)検索機器導入 ・全農協データ(アーカイブ)検索・朝日新聞全データ検索可能(1985年以降)(各館独自事業) 【溝口図書館】・布絵本ちくちく教室開催(15回) 令和3年度は新型コロナウイルス感染症蔓延防止のため、各コンサートを中止した。</p> <p>・図書館らしい事業づくりとは、おはなし会、読み聞かせコンサート、音読教室等、図書館資料を活用した事業であると考え取り組んでいる。また、子供の読書活動推進は、子育てに直結している。啓発活動の一環として、読み聞かせの重要性やスマホの弊害などを保護者に啓発することも公共図書館の重要な役割であると捉え、今後も関係課等と連携を図りながら、子育て支援に積極的に参加していく必要がある。令和3年度は新型コロナ感染症蔓延防止のため、様々な啓発活動を中止としたが、今後安心安全な形で再開していく。 ・布絵本ちくちく教室では会を重ねるごとに本としての多数の作品が完成している。布絵本は乳幼児が触っては遊ぶことに特化した知育玩具であるので、今後町内の保育施設に貸し出すなど、有効活用を検討していく。 ・令和3年に中学校の教科書が改訂されたことから、図書館としても授業に活用できる資料を新たに選書し、レファレンスに備えていく。また小学校の教科書改訂にかかるレファレンス資料も引き続き準備していく。 また、学校司書、司書教諭の相談を受けることが可能となるよう、図書館職員の研修を図りながら、学校図書館支援センターとして機能を整備する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(1) 心豊かな生活を創る学びの推進(つづき)	②読書活動の推進(つづき)	73	図書館協議会委員	図書館	・図書館事業の推進のために法に基づく委員を委嘱し、事業計画・事業の実施結果の説明や意見聴取を行い、計画の推進・事業の見直しなどを行う。	<p>・図書館協議会を年4回開催し、広く地域の方から意見を聞くことができた。計画推進の後押しをしていただくことができている。</p> <p>・町内の読書活動において地域差が存在することから、「出前図書館」の開設が始まったが、図書館協議会では、さらに発展した事業として移動図書館車の導入の意見をいただいている。色々な面から困難な点もあるが、今後とも検討を重ねていきたい。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
3-(2) 人権尊重のまちづくりの推進	①人権尊重のまちづくりの推進	74	人権教育推進事業	人権政策	人権教育推進を目的に、人権教育推進員を配置し、人権に関する諸問題を学び・理解していただくための各種事業を行う。	<p>人権教育・啓発活動の企画運営及び、各種学習会を実施した。</p> <p>・ひまわりセミナー開催9回実施(内3回放送講座)参加者216人 ※新型コロナウイルス感染症対応により3回中止</p> <p>・研修会へのオンラインでの参加</p> <p>コロナ禍で事業の中止があいつぐ中、ひまわりセミナーでは、伯耆町がスタジオをもっている強みを生かして、放送講座、DVDの貸し出しによる啓発といった新たな手法をとり入れることができたので、今後も引き続き様々な手法で啓発に努める。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		75	人権教育・啓発推進協議会運営事業	人権政策	伯耆町人権教育・啓発推進協議会の運営・活動を支援するとともに、各種事業を開催し、人権教育・啓発の推進を図る。	<p>(1)人権教育・啓発に関する調査研究及び実践</p> <p>・各種人権週間広報啓発活動</p> <p>・行政職員悉皆研修(「差別の現実から学ぶ」講話・差別対応マニュアル等について2回実施・参加者92人)</p> <p>・人権啓発標語の募集及び表彰(応募数815点)</p> <p>(2)研修会及び講演会の開催</p> <p>・明るいまちづくり懇談会中止(参加型学習で、令和5年度に延期)</p> <p>・伯耆町人権フォーラム2022(参加者137人)</p> <p>(3)資料の刊行及び啓発</p> <p>・人権カレンダーの作成・配布(町内全戸・企業)</p> <p>・伯耆町人権だよりの作成・配布(町内全戸)</p> <p>・自主製作したDVDを事業所部会の企業へ訪問配布</p> <p>(4)関係機関団体との連携</p> <p>・研究校の指定と授業研究会の開催</p> <p>・研修会への参加(オンラインによる参加)</p> <p>・各種団体の活動支援</p> <p>新型コロナウイルス感染防止のため明るいまちづくり懇談会等の啓発活動ができなかったが、引き続き、事業所部会訪問・行政職員部会研修等でのこまめな啓発、新たな研修等、できることを行っていく。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(2) 人権尊重の まちづくりの 推進(つづ き)	① 人権尊重の まちづくりの 推進(つづ き)	76	文化センター管理 運営事業	文化 センター	地域社会全体の中で福祉の向上や人権啓発の住民交流となる開かれたコミュニティセンターとして、生活上の各種相談事業や人権課題解決のための各種事業を総合的に取り組んだ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区学習会(小中:5~3月、月2回) 小学生(6人) 17回(たくしクラブも参加) 延べ231人(内たくしクラブ161人) 中学生(3人) 14回 延べ23人(地区生徒12人)</li> <li>・地区学習会だより「ひまわり」を発行し、保護者との連携を図ることができた。</li> <li>・相談事業 随時</li> <li>・各種教室 4教室 延べ48回 200人参加</li> <li>・各種講座 年14回 158人参加</li> <li>・ミニデイサービス事業 ゲーム、レクリエーション、創作活動、会食などを取り入れ、楽しめる憩いの場として定着。地域活動への参加につながっている。延べ11回186人参加</li> <li>・百円ランチ 10回 117人参加</li> <li>・交流研修事業 町内外からの研修を受け入れて地区の歴史・体験・活動などを伝え、人権意識の高揚や差別解消に努めた。7団体 82人参加</li> <li>・年間を通じての体験教室・講座で作品作りを行い、2月開催「だんだんまつり」へ多くの作品を展示するよう計画していたが実施できなかった。</li> <li>・その他児童館事業、講演会、センターだよりの発行等を実施し、人権教育推進や地域活性化に努めた。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		77	男女共同参画推進事業	人権 政策	家庭並びに社会生活における活動等への男女共同参画社会の実現に向け、男女共同参画推進計画を基に、各種事業を実施する。	平成28年度から総務課に移管となり、男女共同参画推進計画の策定については、総務課で行っているが、個別の人権課題の一つとして引き続きひまわりセミナーでも取り上げた。 今後とも総務課と連携して啓発活動を継続して実施する必要がある。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		78	町営住宅修繕事業	人権 政策	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行ない、住環境の充実を図る。	老朽化が進行する町営住宅の修繕を行い、住環境の充実を図った。 町営住宅の適切な管理を行うため速やかな修繕に努める。	○	継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(3) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の 創造	① 文化財の保 存と活用	79	埋蔵文化財調査 事業	生涯 学習	開発に伴って事前に試掘調査を行い、 埋蔵文化財の有無や性格を確認し、事 業者との調整を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・富江所在遺跡(農業水利施設等保全高度化事業) 令和4年6月13日～8月30日 115.9㎡</li> <li>・長山所在遺跡(長山地区急傾斜地崩落対策工事) 令和4年10月19日～11月2日 21.5㎡</li> <li>・調査結果報告書作成 令和3～4年度実施分</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		80	文化財保護事業	生涯 学習	本町にある指定文化財等の維持管理 及を行う。また、出土品の展示や歴史 文化に関する講演会等を開催し、郷土 の歴史学習の機運を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国指定文化財 1件、県指定文化財 2件、町指定文化財 11件</li> <li>・指定文化財等の維持(草刈り、除草等)を実施した。</li> <li>・文化財保護審議会を開催し、指定文化財等の適切な管理等について協議を行っ た。令和5年3月27日開催。</li> <li>・企画展示「近代伯耆のタイムカプセル」令和4年12月18日～25日 矢田貝家住宅 観覧者36名</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		81	文化財整理・保存 施設管理事業	生涯 学習	空き施設である旧鬼ミュージアムを文 化財整理・保存施設として再整備する とともに、民俗資料及び文化財の常設 展示を行い、貴重な資料・文化財を後 世に伝える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>収納されている民具及び埋蔵文化財の整理作業を実施した。平成30年度に旧保 存施設より移動したままの状態であったため、梱包の箱を開封し、内容、状態の 確認をし、詳細な整理作業の準備として大まかな分類、移動を実施した。</li> <li>埋蔵文化財の報告書作成(福島城)に多大な時間を要したため民具整理のスケ ジュールに支障をきたし、本格的な整理作業に踏み込めなかった。今後は、よりの確 なスケジュール管理及び進捗の確認を行う必要がある。</li> </ul>	○	継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興	82	地区文化祭・まつり開催事業	岸本公民館	<p>公民館を主たる会場として、文化祭・祭を実施し、公民館の同好会、保育園児から高齢者まで地域住民の生涯学習の成果発表の場を提供した。実施にあたっては、地域住民からなる実行委員会を組織し、企画、準備、運営を行なっている。</p>	<p>今回の岸本公民館きないや祭はコロナ禍ではあるが、11月19(土)・20日(日)に岸本公民館、岸本小学校体育館を会場として開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、作品展、行政展など展示関係を岸本公民館で、フリーマーケットや公民館教室等の発表を岸本小学校体育館で開催することができた。検温、名簿の記入など感染症対策を行なった。</li> <li>・作品展は、岸本公民館で2日間で344人の入場者があった。(前年度比41%増、前々年度比69%増 ※コロナ禍での状況)</li> <li>・今回も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため保小中の作品展示はなしとした。また青空市など飲食を伴うイベントや吉長市も中止とした。</li> </ul> <p>・公民館で活動をしている教室・同好会に、引き続き発表や体験コーナーの参加を呼びかける。また、他公民館の出品も検討する。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
				溝口公民館		<p>・溝口公民館まつりは、令和4年度は感染状況が落ち着いており、行動制限等も緩和されていることから開催することを前提に準備を進めた。飲食の提供や参加者が密集する体験コーナー等、感染対策が徹底できないメニューは行わず、作品展、溝中吹奏楽部演奏、くろぼくコンサート、JA女性会の物販、本のリサイクル市等を行い、全体として規模縮小のうえ 3月18.19日に開催。1日目112人・2日目239人。</p> <p>・各種同好会や教室の減少傾向がある中、広く町民から作品を募集することにより、一層町民の公民館まつりという意識化を図り、公民館同好会が中心となり、地域を巻き込んで、自分たちのまつりという機運を高めていきたい。</p> <p>・中学生ボランティアには自主性を尊重するとともに、負担感とならないよう配慮し、参加した中学生の社会性の意識向上・醸成に繋がるよう努めたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
				二部公民館		<p>・第38回たたらまつりを 2月25日～27日で、新型コロナ感染症の感染対策を講じながら実施した。</p> <p>・開催にあたっては、地域住民の積極的な参画により、まさに「地域住民手づくり」のまつりにしていきたい。</p> <p>・飲食は無かったが、盛況であった。</p> <p>来館者：650人</p> <p>・地域住民が主体となった「二部地区手づくり」のまつりが開催できており、引き続き地域住民主体のまつりを企画運営していきたい。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上
				日光公民館		<p>・第43回日光ふるさとまつりを3月11日～12日に新型コロナ感染症対策を講じながら開催した。</p> <p>・事業内容は、各種同好会等の作品展やフリーマーケット・物販とし、日光そば・餅つきの飲食や体験コーナーなどの密となる事業は全て取りやめとした。また、義方公民館の海産物の即売会も中止とした。</p> <p>・実行委員会を組織し住民参画により、地区住民の意見を十分に取り入れた事業内容を検討。</p>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価	
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等		
						主な課題・改善方針・今後の展開等		
3-(3) 芸術文化の振興と豊かな人間性の創造(つづき)	② 地域芸術文化の振興(つづき)	83	写真美術館管理運営事業	美術館	美術館の運営を通じて、植田正治作品の紹介や地域の写真芸術・文化の振興に寄与する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和4年度は、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響があったが、全国旅行支援事業等の実施により、来館者数については回復傾向にあった。館内での感染症対策としては、サーモグラフィーによる検温や手指消毒・マスク着用(R5.3.13からは任意)のお願い、受付用透明パーテーションの設置、館内の定期的な消毒を行った。</li> <li>企画展3回、地元新聞紙、その他雑誌等掲載</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		84	写真美術館改修事業	美術館	施設の老朽化や損傷等について、更新・改修等を行うことで、展示環境や来館者の利便性・観覧環境の改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>エレベーターの改修工事を行った。</li> <li>雨漏り箇所の修繕、外周コンクリートの破損修理、全館照明LED化、発電機電気系統の修理</li> </ul>	◎	新規事業目標達成90%以上
		85	鬼の館運営事業	生涯学習	本町の文化拠点として、文化に直接触れる機会の提供、各種団体の研修や町内サークル等の発表の場として文化団体の支援・利用促進及び施設の維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な維持管理を行い、町内サークル等の発表の場を提供した。 利用件数:144件、利用人数:3,499人</li> <li>引き続き文化団体や個人の発表の場を提供するとともに、住民が文化に直接触れる機会を提供していく。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		86	地域文化活動の支援	生涯学習	豊かでうるおいのある生活を創造するため、芸術文化の振興・育成を図り、町内芸術文化事業を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域文化活動の支援のため、伯耆町文化振興会の支援と、各種文化事業を計画した。</li> <li>事業によっては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。</li> <li>文化振興会の支援 詳細はNo.88参照</li> <li>伯耆町美術展 11月12日(土)~14日(月)</li> <li>伯耆町民音楽祭 12月25日(日)</li> <li>対面開催するとともに収録をし、1月にケーブルテレビで放送した。</li> <li>くろぼくコンサートの支援</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		87	文化活動団体支援事業	生涯学習	町内の芸術文化活動を行う団体への支援を行ない、文化活動の振興に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>鬼面太鼓振興会・岸本風神太鼓振興会へ補助を行い、後継者育成、演奏技術の向上等活動を支援した。</li> <li>町内文化活動団体の練習会場として、鬼の館を無償で貸し出した。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
						<ul style="list-style-type: none"> <li>文化の継承のためにも、団体の安定的な運営に向け継続した支援が必要。</li> </ul>		

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
3-(3) 芸術文化の 振興と豊かな 人間性の 創造(つづき)	② 地域芸術文化の 振興(つづき)	88	文化振興会補助 事業	生涯 学習	町内の文化活動の活性化のため、伯耆町文化振興会を支援する。 会員数45人(令和3年3月現在)	<p>コロナ禍のため、例年の事業を大幅に縮小しての実施となった。</p> <p>○総務部会 ・総会(開催せず、事業計画書面送付に変更) ・文化講演会(中止) ・会報18号発行(全戸配布)</p> <p>○音楽部会 ・町民音楽祭(出演9団体 対面開催及び収録・放送を実施)</p> <p>○美術部会 ・美術展(来場者421人)</p> <p>・役員、会員の高齢化。 ・組織のあり方について、会の中で検討し意思統一していく必要がある。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		89	教育委員会表彰 事業 ※芸術文化の 部	生涯 学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化 において、顕著な活躍をした者を表彰 することにより、スポーツ・芸術文化の 振興を図るとともに、被表彰者の今後 の励みとなるよう住民に周知する。	<p>感染対策を講じて、3/27に表彰式を開催した。</p> <p>大賞受賞者には教育長から授与、優秀賞以下については学校経由または郵送で 賞状・記念品を配布した。</p> <p>受賞者:芸術文化の部 74名 スポーツの部 158名 14団体</p> <p>表彰規定の見直しを行い、令和5年度から適用する。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		90	写真芸術・文化振 興事業	美術館	写真芸術・文化の振興に資することを 目的に、フォトコンテスト、ワークショッ プ、作品説明、フォトスクールを開催す る。	<p>・写真美術財団の事業として、例年フォトコンテスト、フォトスクール、ワークショップ を実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、ワークショップは中止した。</p> <p>・フォトコンテスト 応募点数:一般の部523点(250人) 18歳以下の部:236点(198人) 審査員:織作峰子氏(写真家、大阪芸術大学写真学科学科長)、川本貢功氏(写 真家、二科会 写真部名誉会員)、平間至(写真家) 入賞・入選作品展示:11月9日(水)~12月5日(月) 表彰式:12月4日(日)</p> <p>・フォトスクール プログラム:作品鑑賞、デジタルカメラの基礎講座、撮影会、撮影会作品の講評 参加者数:8団体(町内小中学生他) 168人</p> <p>・メーカー側の経営悪化により、フォトコンテストへ景品供給が減っている。また、 フォトスクール用のカメラの貸与も、1社のみとなったため柔軟に対応できにくくな っている。新たな借入先を見つけるか、購入するか等の検討が必要。</p>	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
4-(1) 生活の中に スポーツが ある暮らしの 支援	① 幼児・小中 学生のス ポーツ活 動の推 進	91	こども体力・運動 能力等向上事業	総合ス ポーツ公 園	幼児を対象として、体力・運動能力向上を目的に町内各保育所へ指導員を派遣し、運動・運動遊び指導を行う。(スマイリースポーツクラブ委託事業)	町内5保育所で年中長児を対象に運動教室を開催。年間80回計画したが、コロナの影響により56回の実施となった。  運動遊びなどを通じ、子どもの体力・運動機能向上に有効な事業であり、今後も継続実施する	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		92	伯耆町体育団体 等補助事業 ・ジュニアクラブ 活動支援	総合 スポーツ 公園	スマイリースポーツクラブに所属するジュニアクラブに対し補助を行い、児童生徒の健全育成、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。	ジュニアを対象にした各種活動を実施し、体力・運動能力・競技力向上や健康増進に寄与した。また、コロナウイルス対策等の情報提供を随時行った。 ・支援対象ジュニア団体 9種目11団体  ・伯耆町TVや団員募集冊子の配布など、会員増加に取り組むとともに、認知度を向上させるための広報活動を行って行く。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		93	スポーツクラブと の連携による健 康づくり	総合ス ポーツ公 園	まめまめクラブ、元気アップ教室、アクアフィットネスなど町民の健康づくりを目的とした健康対策課所管の各種事業をスマイリースポーツクラブと連携し実施する。	・高齢者運動教室「まめまめクラブ」は健康対策課が直営で開催することとなった。 ・「元気アップ教室」及び、「アクアフィットネス」は健康対策課事業としては廃止されたため、スマイリースポーツクラブが主催して同様な運動教室を開催することとなった。  健康づくり関連の運動教室をスマイリースポーツクラブが主催する形で実施していく【事業番号96に実績を記載】	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
4-(1) 生活の中に スポーツが ある暮らしの 支援(つづき)	②ライフス テージに応じ たスポーツ 活動の推 進	94	スポーツ推進審 議会事業	総合 スポーツ 公園	教育委員会のスポーツに関する諮問及び町のスポーツ推進に関する事項について研究協議を行う。	下記の項目を議題として審議会を1回開催した。 ・スポーツ推進計画(第2次)の進捗状況について ・中学校の運動部活動の在り方について  ・第2次計画の施策実施に向け取り組んでいく。 ・令和6年度からの第3次計画の策定に向けて取り組む。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		95	スポーツ推進委 員事業	総合 スポーツ 公園	委員を委嘱し、町内のスポーツ振興・普及を図る ・町内体育行事の運営協力 ・生涯スポーツの指導、普及啓発 ・総合型地域スポーツクラブの運営	・新型コロナウイルスの影響により各種研修会やスポーツ大会運営などのスポーツ推進委員活動が十分に実施できなかった。 ・スポーツ推進委員のうち、スマイリースポーツクラブに理事2名・監事1名が就任している。  ・委員の定員は8名で任期は2年間である。令和5年度が改選となる	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
4-(1) 生活の中にスポーツがある暮らしの支援(つづき)	②ライフステージに応じたスポーツ活動の推進(つづき)	96	スマイリースポーツクラブ支援(スマイリー独自活動支援関係)	総合スポーツ公園	スポーツを通じて地域住民の健康増進や体力向上を目的に活動する総合型地域スポーツクラブ、「ほうきスマイリースポーツクラブ」が主催するスポーツ活動に係る経費の一部について補助金を交付し支援する。	健康づくり等を目的とした教室・大会を開催し町民の健康増進に寄与した。 ・スマイルフィットネス教室 2期各10回延べ280人 ・ほうきキッズアスレ 8回延べ120人 ・スマイリーウォーキング 2回延べ56人 ・キッズクロスカントリー大会 34人 ・親子体操教室 2回延べ72人 ・親子モルック教室12名 ・アクアフィットネス教室 2回延べ12人 ・夏休み短期水泳教室 1期4日間延べ72名 ・体力テスト判定会 20名  ・スマイリースポーツクラブはスポーツ庁・日本スポーツ協会が設立を推奨する「総合型地域スポーツクラブ」であり、行政主導ではなくクラブ員や地域住民の意見を取り入れたスポーツ活動を今後も実施していく方針。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
4-(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	①いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	97	町内体育施設管理運営事業	総合スポーツ公園	町内の社会体育施設である体育館・武道館・町民グラウンド・総合スポーツ公園等の管理運営を行う。	各施設利用者数(前年比較) ※中学校部活利用は除く ・社会体育施設(町民体育館ほか) 25,334人(+3,085人) ・総合スポーツ公園 25,149人(+2,653) 新型コロナ対策の規制が緩和されたため利用者が増加傾向である。  (主な施設修繕業務) ・溝口体育館非常用電源装置更新修繕 ・溝口体育館階段手摺・床タイル修繕 ・岸本体育館ステージ下扉修繕 ・岸本体育館暗幕修繕 ・町民グラウンド電力引込開閉器修繕 ・B&G体育館太陽光発電装置修繕 ・B&Gプール配管調査・修繕 ・総合スポーツ公園高圧気中開閉器更新修繕 ・多目的グラウンドフェンス修繕 ・総合スポーツ公園広場遊具修繕 (主な施設管理委託業務) ・総合スポーツ公園芝生更新業務 ・溝口体育館植栽伐採業務 ・各施設消防用設備点検業務  ・今後も安全で快適なスポーツ環境を提供できるように施設の管理運営を行う。	○ 継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
4-(2) いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	① いつでも気軽にスポーツができる環境の整備	98	体育施設改修事業	総合スポーツ公園	快適な環境で運動できるよう体育施設の改修等を行う。	<p>オリンピック正式種目に採用されたクライミング競技を体験できる遊具を下記のとおり設置した。</p> <p>・クライミング遊具設置工事(設置場所:総合スポーツ公園ちびっこ広場)</p> <p>・今後も安全で快適なスポーツ環境を提供できるように施設の改修等を行う。</p>	◎ 新規事業目標達成90%以上
		99	伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援	総合スポーツ公園	スマイリースポーツクラブに所属する各部(旧体育協会所属部)に対し補助を行い、競技力向上、指導者等の育成及び地域スポーツの振興を図る。	<p>スマイリーアスリートクラブの活動を支援し、競技力の向上、競技普及及び各種競技大会へ参加を支援した。</p> <p>・支援対象アスリートクラブ団体 7種目7団体</p> <p>・会員増加に向けての企画立案。</p> <p>・町民への認知度を向上させるための広報活動。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		100	各種スポーツ団体補助事業	総合スポーツ公園	伯耆町ゲートボール協会並びに伯耆町グラウンドゴルフ協会活動経費の一部を補助する。	<p>・生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供に寄与した。</p> <p>・町内の団体・個人について、スポーツ公園グラウンドゴルフ場、ゲートボール場の使用料を無料とし、施設の有効利用促進を図った。</p> <p>※町大会運営や郡、県大会等さまざまな大会に参加されている。</p> <p>・今後も生涯スポーツの普及振興や高齢者の生きがいの場を提供できるよう、継続的サポートを行う。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上
		101	教育委員会表彰事業 ※スポーツの部 (No89事業の再掲)	生涯学習	町民及び出身者でスポーツ・芸術文化において、顕著な活躍をした者を表彰することにより、スポーツ・芸術文化の振興を図るとともに、被表彰者の今後の励みとなるよう住民に周知する。	<p>感染対策を講じて、3/27に表彰式を開催した。</p> <p>大賞受賞者には教育長から授与、優秀賞以下については学校経由または郵送で賞状・記念品を配布した。</p> <p>受賞者:芸術文化の部 74名 スポーツの部 158名 14団体</p> <p>表彰規定の見直しを行い、令和5年度から適用する。</p>	○ 継続事業目標達成90%以上又は新規事業ほぼ達成70%以上

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進	① スポーツ交 流の充実・ 支援	102	地区運動会・その 他イベント開催事 業	岸本 公民館	町民総スポーツの中心的事業として 運動会を開催し、子どもから高齢者ま での参加により地域の連帯感、親睦を 深めた。 実施にあたっては、地域住民からなる 実行委員会を組織し、企画、準備、運 営を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民運動会岸本地区大会を10月2日に開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。</li> <li>・アンケートにより、競技役員から出された課題を検討し、今後の企画・実施に反映させる。また、集落内の少子・高齢化等により参加集落が年々減っている傾向にある。今後、集落の現状も踏まえ、町民運動会のあり方について検討する必要がある。</li> </ul>	
				溝口 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民運動会溝口地区大会を第3日曜日となる10月16日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。このことについては、共通認識のもと、各地区運動会の全てを中止とした。</li> <li>・平成29年度、平成30年度、令和元年度と3年連続で雨天中止となった。令和2年度、令和3年度は、新型コロナにより中止となった。令和4年度についても中止となった。実行委員会は、令和元年度を最後に開催していないため、令和5年度以降の開催にあたっては、事業を再構築するくらいの労力が必要になる。</li> </ul>	
				二部 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民運動会二部地区大会</li> <li>・町民運動会二部地区大会を第1日曜日となる10月2日に開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。このことについては、共通認識のもと、各地区運動会の全てを中止とした。</li> <li>・平成30年度、令和元年度と2年連続で雨天中止となった。令和2年度、令和3年度は、新型コロナにより中止となった。令和4年度についても中止となった。実行委員会は、令和元年度を最後に開催していないため、令和5年度以降の開催にあたっては、事業を再構築するくらいの労力が必要になる。</li> <li>・二部地区のスポーツ・健康事業として、二部地区活性化推進機構主催による、ウォーキングを計画したが、悪天候で中止した。</li> </ul>	
				日光 公民館		<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民運動会日光地区大会を10月16日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</li> <li>・伯耆町駅伝大会を10月10日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止とした。</li> <li>・運動会の競技内容の検討が必要であり、実行委員会で協議をする。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとった上での事業実施方法の検討が必要。</li> </ul>	

計画分類		主な事務事業					評価
施策方針	事業方針	番号	事業名	担当	事業概要	主な成果等	
						主な課題・改善方針・今後の展開等	
4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進(つ づき)	① スポーツ交 流の充実・ 支援	103	生涯スポーツ振 興事業	総合ス ポーツ公 園	一般町民を対象としたスポーツ大会を町内スポーツ団体等と連携し開催することで、各種スポーツの振興、町民の健康づくり及び町民の交流・親睦に寄与する。運営は、スマイリースポーツクラブに委託。	一般町民を対象とした町主催スポーツ大会を7事業計画したが、新型コロナ対策のため全て中止となった。 ・4月 ハドミントン大会 中止   ・5月 ソフトテニス大会 中止 ・9月 野球大会 中止   ・10月 駅伝大会 中止 ・11月 バレーボール大会 中止   ・1月 ハドミントン選手権大会 中止 ・3月 卓球大会 中止  ・今後は感染症対策をとりながら再開していきたい。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		104	生涯スポーツ振 興事業(ジュニア スポーツ大会関 係)	総合ス ポーツ公 園	町内小学生を対象にしたスポーツ等のイベントを開催し、スポーツに親しむ基礎づくり、体力・運動能力の向上及び小学生同士の親睦・交流を図る。	小学生を対象とした町主催事業(B&G財団関連事業)をコロナ対策をとりながら実施した。 ・5月 海ごみOフェスティバル(ゴミ拾いボランティア活動)24人 ・7月 B&G水辺の安全教室 4名 ・3月 B&G会長賞ジュニアハドミントン大会 18人  ・スマイリーが主催する小学生対象事業とともに、今後も連携して実施していく。	
4-(3) スポーツで つながり広 がる交流・連 携の推進(つ づき)	③ 競技スポー ツの支援	105	オールジャパン ジュニアトライア スロンin伯耆補助 事業	総合 スポーツ 公園	全国の小学生を対象にトライアスロン競技を開催するための事業費の一部を助成する。	・第28回大会開催予定であったが、新型コロナウイルスの影響により参加者・保護者・役員等の安全確保が困難との判断から大会を中止した。  ・令和5年以降の大会についても感染対策、猛暑対策、3年間中止による運営上の課題等があり開催は困難である。	○ 継続事業目標 達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
		106	スポーツ優秀選 手支援事業	総合 スポーツ 公園	町内の特にレベルの高いスポーツ優秀選手に対する支援や顕彰を行うことで、意欲向上等による一層の活躍とスポーツに対する町民の関心を高める。	・全国大会等に出場する団体、個人に対し経費の一部を補助 15件 ・全国大会等に出場する団体、個人の看板を作成し、役場前に掲示 32件  ・今後も競技スポーツの振興を図るため支援を継続実施する。	
		107	東京オリンピック 聖火リレー事業	総合 スポーツ 公園	東京2020オリンピック聖火リレー及び、パラリンピック聖火展示を実施する。	事業完了(令和3年度)	

## 自己点検・評価に関する回答票

### ○報告書個別事業に対する有識者の意見等

本意見は、報告書を社会教育委員、図書館協議会委員、小中学校校長、PTA会長及びスポーツ推進審議会委員に送付し、無記名で意見書を返送いただいたものを掲載しています。

教育行政全般に関するご意見・ご感想	<p>コロナ禍で、思うように事業が進めにくい中、工夫されて取組を進められている様子がよくわかりました。学校教育に対しても、予算措置等による環境整備等を進めていただき、感謝しております。</p>
	<p>学校からの要望を聞いて丁寧に対応していただいていると感じています。強いて言えば、地教委から発出される文書等が稟議を経たものか疑う場面(あまりにもケアレスミスが多い)が繰り返されたので、行政として確認をお願いしたいと思えます。</p>
	<p>今、気候変動への対策は緊急の課題です。 IPCCの報告書では2035年に19年比で60%のCO2削減する必要があるとしている。 現在、持続可能な開発目標(SDGs)には2030年を達成期限として17の国際目標があります。伯耆町もSDGs未来都市宣言をして、これらの目標について具体的に施設方針、事業方針を定め、取り組んでいく必要があります。 温暖化対策はこの10年が勝負の年です。</p>
	<p>完全にコロナはなくならないが、コロナ禍でやめていたものをするのか、新たに形を変えて実施するのか、行政の方向性をしっかり示していただきたい。</p>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
2	標準学力調査及び分析の実施	今年度から研究主任も加えた協議となり、今後の取組が期待できます。
4	体力向上計画策定と進捗管理	<p>正直言って、体育科まかせになっている現状があります。</p> <p>町報等で調査結果は公表されているが、この評価の成果等にもその概要をのせて評価すべき。小学校の郡体育大会がなくなる中、体力づくりが心配になる(対外試合とその練習、子供の意欲など)。町として、学校として、どう対応するか検討すべき。</p>
5	小学校外国語教育推進事業	<p>小学校にALTを1名配置していただき、大変ありがたいです。国際理解教育として、期末試験時を活用して外国青年招致授業で中学校配置のALTが小学校へ訪問等を考えてみてはどうか。</p> <p>形式的にならないよう小学生が興味を持って取り組み確かな英語力を身につけるようお願いします。</p> <p>ALT配置による効果は大きい。ぜひ今後も継続配置を。</p>

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
6	外国青年招致事業	ALTが欠けたときに素早く対応していただき感謝しています。
		ネイティブの方に英語が伝わった喜びは、日本人どうして英語を話すよりずっと自信につながると思う。また公民館でのALTとの活動が持てることも大変感謝しています。これからも配置をお願いしたい。
9	運動部活動推進事業	当面、休日の部活の地域移行だが、将来的な見通しをもち、部活動と地域クラブの共存、学校と地域の実態に応じたやり方を検討すべき。
		引き続き、教員の負担軽減の工夫をお願いします。
10	特別非常勤講師配置事業	専門的な指導がしていただけるのでありがたい。今後も継続を希望する。
11	伯耆町教育振興会事業 ・人権教育	コロナ禍での対応の中で、多くの参加、共通理解へ向けた実施ができた。
12	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・各校研修会	学校単位で予算枠があることが有効だと考えます。
		各学校の研究に外部講師は重要である。教職員のスキルアップにつながり、授業力向上につながる。
13	小中一貫学力・人間力定着促進事業 ・教委研修会	保小中一貫教育にこだわった取組になっており、方向性がよいと考えます。
14	伯耆町教育振興会事業 ・研究大会	年度当初にもってこられたことを評価しています。
		各部会をそれぞれで計画するのが大変難しい。研究大の日に、各部会を開催し活動計画を確認できるようにしてはどうか。
		子どもに関わる支援等、保小中同じ対応、内容を学ぶ機会は連携を図るために必要。
15	伯耆町教育振興会事業 ・授業研究会	コロナで顔が見えなくなり、小中学校の教職員がつながる体制作りが再度必要に感じる。
19	伯耆町教育振興会事業 ・保小中一貫教育	この評価依頼を受け、毎年回答をさせて頂いておりますが、思ったように進展は見られません。定期的な小中での連絡会が必要だと考えます。
		コロナ禍で交流について進めにくかったが、情報交換を行い、連携を図ることができた。
		保小中一貫カリキュラムが、教職員に浸透していない。保小中一貫教育のコンセプトを教員が把握していない感じがする。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
21	スクラム教育事業 (保・小・中の児童・生徒交流活動)	<p>学校が進めているものであり、地教委の事業ではないと把握しています。</p> <p>交流活動により、子どもの現状を見たり、共有することができる。</p>
22	中学校教員の小学校への乗入授業	<p>教職員の配置に余力がなければ実施はできないと考えます。</p> <p>岸中校区への拡大を望む。</p>
23	就学支援検討会	<p>必要に応じて連絡会、情報交換を行い、保護者を含めた就学支援を行っている。</p> <p>関係機関の連携は重要であると感じる。今後も関係機関が連携して、支援の必要な子どもに関わっていく役割分担を見える化していくとよい。</p>
26	少人数学級実施事業	<p>学習支援員とのからみで、少人数学級に該当しない場合は、学習支援員の配置を増やすなどの対応を検討いただきたいです。</p> <p>複式学級となる場合統合は検討されないのか。</p> <p>複式学級が増えていく中で、わたりが指導できる教職員はいない。教科を単式で指導できるような配置が必要になる。</p> <p>きめ細やかな指導と支援のため、継続を望む。</p>
27	スクールソーシャルワーカー活用事業	学校との連携が密にされており、早期に対応できる流れができていることは安心感がありありがたい。
28	スクールカウンセラーとの連携	大いに活動していただいています。
29	特別支援教育支援員配置事業 ・早期支援コーディネーター	<p>有益な助言に感謝しています。</p> <p>支援の必要な子に対する早期支援に向けて、他機関とも調整、連携、情報共有をしながら、支援の充実を図っている。保小中の引継ぎに関して連携に担い、充実を図っている。</p>
30	特別支援教育支援員配置事業 ・学習支援員等	効果が大きい。継続を望む。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
31	学校図書整備及び図書館司書配置	町立図書館との連携を強くしてほしい。
		学校司書と図書館システムは、セットでより効果が発揮される。業務改善とより効果的な学校図書館の運営にシステムは、今の時代不可欠と感じる。
32	校務支援システムの活用	もはや必須であると考えます。
		C4THの活用が全職員に定着してきた。ただ町職員のみなさんは活用ができない状況である。掲示板だけでも活用はできるようにならないだろうか。
33	教育支援センター運営事業	通所するかどうかは別として、存在していることが意義をもっていると考えます。
37	小学校施設修繕事業	老朽化している箇所は、早急に改修する必要がある。(例:トイレ)
		今後も子どもたちの安心安全な環境づくりのため要望に応じた実施をお願いしたい。
38	中学校施設修繕事業	丁寧に対応をいただいていると感じています。
42	ICT環境の整備	言えばきりが無いと思いますが、支援員の配置を含めて、充実していると考えます。
46	食材供給連絡協議会との連携	給食委員会でも意見がありましたが、パンの供給を遠方の業者へ依頼するよりも、主食は米のみのメニューとしてはどうかという点について、一考の意義はあると思います。
47	伯耆町教育振興会事業 ・学校事務	教材費等の振り込みをぜひすすめていただきたい。
49	家庭教育支援事業	コロナ禍で実施が難しい状況が続いたが、家庭での子育ての支援に関しての取組み実施を充実してもらいたい。
		コロナで集合型は、できなかったが、家庭教育の充実を啓発する必要はあったと感じる。
50	家庭教育ハンドブック配布及び活用事業	保護者、各学校・保育所で、より活用できるようにしていく。
51	PTA協議会補助金	この補助金は、コロナ前からPTA協議会の執行が長年なかったため、数年前から予算計上をしていないと把握しています。今後の展望にあるとおりPTA協議会からの要望があれば予算計上するものと認識しています。
		数年休止するとなかなか復活するのは難しい。PTA活動の活発化には特に力を入れて支援する必要があると思う。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
52	学校運営協議会運営事業	地域・保護者と共に作る学校として、様々な意見が取り入れやすく、より一層の周知と幅広い意見、理解に向けて、取り込んでほしい。
53	地域学校協働本部事業	コーディネーターにはとてもよく活動していただいています。
		コーディネーターの尽力により地域との連携や学習の充実が図れている。今後もお願いしたい。
54	伯耆町教育ネットワーク会議事業	「あいさつ」もいいですが、教育委員も同席し、町全体の教育の課題について意見交換を行う場としていくのがよいと考えます。
		小学生は下校時はよくあいさつするが、集団登校時はあいさつしない児童が多い。中学生は概ね良好。
55	子供の体験活動事業(学校)	学校によって体験格差が生まれないよう実施の工夫をお願いしたい。
56	放課後子供教室	児童の放課後の過ごし方について、連携を取りながら、子どもにとって有意義な放課後時間となっている。
59	高校生サークル (旧)高校生ユースセミナー)	高校生活3年間はするべき事が多い。進学校では、時間が足りないくらい。そんな中地元での地域活動に時間を割いてもらうためには中学生の時にこの組織を知ってもらい、また、魅力ある組織・活動にしていけない。
		この取組は将来の伯耆町の担い手を育てることにもつながると思うので、ぜひ進めていっていただきたい。
		中学校の「先輩に聞く」などの高校生ボランティアの子ども達に声を掛けたり、現高校生の取り込みができるとうれしいですね。
		中学校時代から地域貢献のボランティアを養成し、高校生サークルにつなげる仕組みが必要と思う。
60	子供の体験活動事業(公民館)	地域での格差がうまれないよう実施の工夫をぜひをお願いしたい。
62	通学合宿事業	この事業を運営するのは人材確保が必要で年々難しくなっている。しかし、短い期間ではあるが、親元から離れて体験できることはとても多いと思う。なんとかして今後も実施できるようにしていただきたい。
69	社会教育主事等の育成	社会教育士の養成を役場内で計画的に行い、教育委員会だけでなく福祉などにも配置し、社会教育と福祉の連携を深める等、活用を図る必要を感じる。
70	地区公民館との連携	本校(岸本中学校)は少なくとも岸本公民館と連携を進めています。
		八郷地区での公民館活動についても記載していただけるとありがたい。(この欄に記載することでなければ削除してください)

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
71	図書館管理事業	<p>図書館が知識や楽しみを得る場所だけでなく、町民にとって身近な居場所であり続けてほしい。</p> <p>図書館を利用しやすいよう工夫して行って下さい。</p> <p>コロナ禍であっても、対策を講じて事業を行っているのが素晴らしい。</p> <p>取り組みはとても充実しているので、データベース化されることによってより一層利便性が向上するのではないかとと思われる。</p>
72	図書館振興事業	<p>あたまイキイキ音読教室に参加されている方はとても積極的に笑顔でよい時間になってると思います。但、他町の取り組みも知りたいです。よりよい取り組みをするための研修もあってよいのでは？と思います。</p> <p>本に触れあい、利用しやすくなるような取組みを行われている。</p>
73	図書館協議会委員	<p>読書活動のための創意工夫を図書館担当者の方々は熱心に 取り組んでおられると思います。図書館施設の更なる充実をお願いします。</p> <p>将来に向けて図書館のあり方を協議してほしい。</p>
83	写真美術館管理運営事業	「フオトスクール」の教育効果は高いと感じています。
87	文化活動団体支援事業	後継者育成は重要である。団体の運営が軌道に乗るよう行政がどこまでサポートするかゴールを設定しては。
91	こども体力・運動能力等向上事業	年齢に応じて獲得できる運動感覚があるため、幼児対象は適切であり、今後も継続すべき。
92	伯耆町体育団体等補助事業 ・ジュニアクラブ活動支援	ジュニアクラブの会員増加のためには、保護者の理解が必要であり、保護者向けの広報も大切である。
93	スポーツクラブとの連携による健康づくり	健康づくり関連事業を実施している他部局・団体の状況を集約し 町全体として、不足している年代や、内容等、分析・改善する必要がある。
95	スポーツ推進委員事業	町民の皆さんも、委員の存在をご存じない方もおられる事をよくお聞きます。米子市の場合各公民館校区 に推進委員がおられ、活動も活発にしておられます。

NO	事業名	事業や評価に関するご意見・ご感想等
96	スマイリースポーツクラブ支援(スマイリー独自活動支援関係)	ジュニア期のスポーツ活動の大切さを継承していくため、今後もジュニア期に重点をおいた事業を実施すべき。
		年代に合わせた運動を指導し、スポーツ、健康増進に向けて積極的に取り組んでいる。
99	伯耆町体育団体等支援事業 ・一般スポーツ団体等支援	中学校部活動をベースとして、その後の動向などによる参加要請等、工夫した会員増加の取組みが必要。
100	各種スポーツ団体補助事業	中体連主催以外の大会へも補助金をいただき、大変助かっています。
102	地区運動会・その他イベント開催事業	数年中止したイベントを再開するには大変なエネルギーが必要。参加しやすい形を工夫し、継続することが大切。
		運動会を継続するかどうかも含めて運動会のあり方を根本的に検討する必要がある。
103	生涯スポーツ振興事業	集落で、職場で、仲間で、できるだけ出場しやすい大会として継続するとともに、新たな種目への改善も必要。
		コロナ禍であったが、他市町村では対策を講じてスポーツ大会などを実施していた。できる工夫を考えて、実施した方が良かった。
105	オールジャパンジュニアトライアスロンin伯耆補助事業	今年、実行委員会が開催され本年度及び今後は大会を行わないと聞きましたが、大会に役員として数十年携わってきた者として、開催までの事務局の公務の多忙さ、また、ここ数年の天候を考えた場合、私自身妥当な判断だと思いました。
106	スポーツ優秀選手支援事業	高いレベルの選手育成として貴重な支援になっている。今後も支援を継続することが、選手の意欲につながる。

●教育委員会の活動(点検及び自己評価)

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価	
				意見・感想、主な課題・改善方針等	評価	評価選択肢
教育委員会の活動	1	(1)教育委員会の会議の運営状況 教育委員会会議開催	・教育委員会会議規則に基づき、定例会を毎月1回開催する。	・規則等に基づき、定例会12回、臨時会1回を開催し、案件数105件(報告34件、議事15件、協議23件、その他33件)を審議した。 ・今後も継続実施	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		教育委員会会議の運営上の工夫	・慎重な審議と会議の効率化を図る。(定例会の議案または資料を事前に配布する)	・議案等資料を概ね1週間前に送付することで、事前に案件の内容把握を行うことで会議の効率化に努めた。また、平成28年から始めた委員協議についても継続し、最新の教育事情等について意見交換を行い、見識及び共通理解を図った。 ・今後も継続実施	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	2	(2)教育委員会活動の保護者や地域住民への情報提供・情報発信 広報活動の状況	・教育委員会の自己点検と評価等をホームページ等で掲載し、住民への情報提供を行う。	教育委員会の自己点検及び評価等を、毎年9月議会にて報告するとともに、町ホームページを掲載し、情報提供を行った。 ・今後も継続実施	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
		議事録の開示・公開の状況	・開示請求があれば、議事録の開示を行う。	・議事録の概要を町ホームページで公開しているが、開示等請求があれば開示を行う。令和4年度は請求無し。 ・今後も継続実施	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上
	3	(3)事務局の管理運営 教育委員会の事務局管理運営	・事務局の事業実施状況を把握し、助言を行う。	・事業の実施状況で、必要なものは、その都度教育委員会に報告し、助言等をいただいた。(議会提出案件、標準学力調査結果など) ・今後も継続実施	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業ほぼ達成70%以上

施策	番号	項目	概要	主な成果等	評価	
				意見・感想、主な課題・改善方針等	評価	評価選択肢
(4)町長部局との連携	4	教育委員会と町長部局との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町長との懇談会を実施する。</li> <li>・総合教育会議を開催し、町長部局との連携等、協議・検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は、総合教育会議を1回開催し、各種学力調査結果の状況、中学校運動部活動の地域移行等に関して協議・検討を行った。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も継続実施</li> </ul>		
(5)教育委員の自己研鑽	5	学校訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。学校運営の取組を聴取する。また学校行事等へ参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校訪問を行い、小中学校授業参観・教職員との懇談を実施。また、学校行事等へ参加した。(卒業式・入学式など)</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内すべての小・中学校へ学校訪問ができ、子どもたちの学びの様子がよくわかり、有意義だった。また、小中の連携を大切に、義務教育9年間を見すえた教育がなされていると実感した。</li> </ul>		
	6	所管施設の訪問	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育施設・社会教育施設等を訪問し、要望等現場の声を聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は、体育施設・社会教育施設等の訪問は実施していないが、定例教育委員会において各施設の事業実施状況等(決算資料による)の確認を行った。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度は、現地訪問を実施する。</li> </ul>		
	7	研修会等参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員を対象として各種研修会等に参加し、教育委員としての知見を広める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集合研修ではなく、オンラインによる研修に参加した。また、定例教育委員会において、事務局から情報提供したりし、委員研修の代替とした。</li> </ul>	○	継続事業目標達成90%以上 又は新規事業 ほぼ達成70% 以上
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインによる研修を受けるためには、事務局に出向かなくてはならず、オンラインで開催の効果が認められないと感じた。</li> <li>・コロナ禍ではオンライン研修も多かったが、今後も集合研修に参加が難しい場合は配信があると出席しやすいと思う。</li> <li>・オンラインではあったが、紹介された研修会には、できるだけ参加し、現在の教育課題、これからの教育のあり方等を学ぶことができ有意義だった。</li> </ul>		